

まちづくりの基本的な考え方に関する施策

(1) まちづくりに関する情報の共有

※ 〈 〉 内は、「決算事項別明細書」の該当ページを表しています。

【広報活動の充実】

〈97・103・107 ページ〉

- 広報紙発行事務
 - ・ 12回発行(全戸配付)

- FM わっかない放送事務
 - ・ 「ハートフルわっかない」 平日3回、土日2回放送
 - ・ 「元気ハツラツわっかない」 週1回放送
 - ・ 「市政 ふれあい通信」 本放送月1回、再放送月1回 (ウェブラジオ配信)
 - ・ 「学びふるさと再発見」 平成26年3月で番組終了。過去に放送されたものをウェブラジオで配信
 - ・ 「防災・災害ひとロメモ」 1日1回毎日放送

- TV 広報市民ニュース放映事務
 - ・ 年52回放送(毎週土曜日)

- 「ふれあいトーク」の開催
 - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- ホームページ管理運営事業

	令和2年度	令和3年度
アクセス件数	698,996 件	768,680 件
各課ページ更新件数	1,629 件	2,350 件
バナー広告掲載数	1 枠	2 枠

【情報公開及び個人情報保護の推進】

〈95 ページ〉

- 情報公開・個人情報保護事務
 - ▽情報公開請求
 - ・ 請求件数 44 件
 - ・ 決定の内訳 公開8件
 - 公開＋非公開1件(非公開の内訳 全部非公開0件、不存在1件)
 - 一部公開22件
 - 一部公開＋非公開6件(非公開の内訳 全部非公開0件、不存在6件)
 - 非公開7件(非公開の内訳 全部非公開1件、不存在5件、存否応答拒否1件)

▽個人情報開示請求

- ・ 請求件数 8 件
- ・ 決定の内訳 開示 1 件、一部開示 2 件、非開示 5 件(非開示の内訳 不存在 5 件)

(2) 市民が主役の協働のまちづくり

【協働のまちづくりの実現】

〈101・103 ページ〉

- 地方創生推進事業
 - ・ 「第2期稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成に向け各種施策を展開したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業が多く見受けられ、また、地方創生市民会議も感染予防の観点から開催を見送った。
 - ・ 勇知地区に地域おこし協力隊を配置し、地域活動の活性化に向け取り組みを進めた。(地域行事や老人クラブの介護予防活動への支援、子どもの野外活動への支援等)
- 協働のまちづくり推進事業
 - ・ 協働のまちづくり活動支援事業補助金
自主的な「まちづくり活動」を行う市民団体等の取り組みに対して支援を行い、市民と行政の協働によるまちづくりの推進を図る。(補助率 2/3、限度額 30 万円(2 年目以降 10 万円))
 - ・ 令和3年度補助件数:0 件

【持続可能な地域コミュニティ活動の推進】

〈103 ページ〉

- まちづくり委員会支援事業

委員会	主たる活動内容
恵北・増幌地区	花いっぱい運動
声問地区	花いっぱい運動
西浜地区	カエルロード交通安全推進事業
宗谷地区	スノーキャンドル・アイスクャンドル事業
大黒・末広地区	アイスクャンドル事業
南地区	環境整備(植樹)
宝来地区	宝来地区いきいき健康講座
北地区	花いっぱい運動
富岡・はまなす地区	花いっぱい運動

※各まちづくり委員会の掲載順は、設立年月日による。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の地区で事業を中止した。

○ 地域集会所等改修事業

- ・ みなと会館(町内会館等改修費補助)
- ・ 大黒二町内会館(町内会館等改修費補助)
- ・ 上勇知町内会館(町内会館等改修費補助)
- ・ こまどり会館(軒先補修工事)
- ・ 川西集会所(外壁・サッシ等補修工事)

○ コミュニティ助成事業

- ・ 潮見第二町内会が実施する交流事業等に利用する備品の整備を行った。
- ・ 内容:太鼓、太鼓台座、太鼓ケース、ブロックアイススライサー等の整備

○ 地域活動拠点施設管理運営事業 (主な利用形態:各種サークル、各町内会、老人クラブ活動)

- ・ 利用者数の状況

施設名	令和2年度	令和3年度
宝来地区活動拠点センター	16,716 人	15,705 人
東地区活動拠点センター	24,592 人	25,533 人
富岡・はまなす地区活動拠点センター	10,407 人	8,570 人
南地区活動拠点センター	14,331 人	16,159 人

【男女共同参画社会の推進】

〈101 ページ〉

○ 男女共同参画事業

- ・ パネル展の実施

開催期間 令和3年6月～令和4年2月

開催場所 市立図書館、稚内港小学校、大岬小学校

(3) 将来を見据えた自治体経営

【効率的で効果的な行財政運営】

〈93・95 ページ〉

○ 議会ICT推進事業

- ・ 議員個々に貸与したタブレット端末を活用し、本会議及び各委員会などの議会運営を実施するとともに、ペーパーレス化の推進と、迅速な情報の伝達及び共有化を図った。

(平成29年度・令和元年度 導入)

議員用タブレット端末(LTEモデル) 18台

議会事務局用タブレット端末(WiFiモデル) 4台

文書共有システム SideBooksクラウド本棚

- ・ SNS等を利用したゼロ予算での議会広報

ホームページやフェイスブック、動画サイト「Youtube」等を活用し、ゼロ予算で議会の活動を広く発信した。

○ 公共施設等総合管理計画改訂事務

- ・ 国による公共施設等の適正管理の推進に基づき、平成27年度に策定した「稚内市公共施設等総合管理計画」に、新たに「ユニバーサルデザイン化」や「脱炭素化」を追加した9つの基本方針を設定するなど、既存計画の改訂を行った。

計画期間:平成 27 年度から令和 36 年度(40 年間)

【情報システムによる行政事務の効率化とセキュリティ対策】

〈107 ページ〉

○ 行政情報化事業

- ・ RPA ツールを導入し、業務の効率化を図った。

業務数 4 件(個人住民税、法人住民税、軽自動車税、固定資産税)

工程数 9 件

業務時間が 143 時間から 76 時間に短縮された。

【職員の人材育成・意識改革の推進】

〈105 ページ〉

○ 職員研修事業

- ・ 人材育成を推進するため、職員研修を実施した。職階に応じて実施する階層別研修や、社会情勢の変化や直面している課題に即応できる能力の習得を目指す専門研修、派遣研修のほか、eラーニングや、自主研修への支援、会計年度任用職員を対象にした研修などを実施し、職員の育成に努めた。

- ・ 一般研修・特別研修 20 回 延べ 284 人 (昨年度 12 回 延べ 316 人)

研修種別	実施回数	延べ参加人数	備考
一般研修	9 回	186 人	
(階層別研修)	(4 回)	(76 人)	新採用職員研修 I・II、初級職員研修 II、管理者研修
(専門研修)	(5 回)	(110 人)	DX 理解研修、業務改善研修、法制執務研修など
特別研修	11 回	98 人	eラーニングなど

- ・ 研修機関派遣研修 0 人 (昨年度 1 人)

- ・ その他派遣研修 1 人 (昨年度 1 人)

(一社)稚内青年会議所(会員)派遣 1 人

○ 社会保障・税番号制度システム整備事業

社会保障・税番号(マイナンバー)制度改正の対応に必要なシステムの改修及び整備を行った。

[改修及び整備を行ったシステム]

- ・ 個人住民税システム
- ・ 団体内統合宛名システム
- ・ 国民健康保険システム
- ・ 介護保険システム
- ・ 児童手当システム
- ・ 児童扶養手当システム
- ・ 子育て支援システム
- ・ 障害福祉システム
- ・ 幼児教育無償化システム

○ 統計調査事業

- ・ 令和3年学校基本調査(毎年)

調査実施日 令和3年5月1日

調査対象 小学校11校、中学校7校、幼稚園5園

調査方法 各学校単位による調査

- ・ 経済センサスー活動調査

調査実施日 令和3年6月1日

調査対象 市内全事業所数2,065件(調査員調査事業所数1,364件、国等直轄調査対象事業所701件)

調査方法 調査員23名による調査票及びオンライン調査

確報集計結果 令和4年9月頃、国により公表

子ども・若者の夢を育み、次代を担う“ひとづくり”

(1) 次代を担う人材の育成と地域とともにある学校づくりの推進

【生きる力を育む学校教育の充実】

〈173・175・177 ページ〉

○ 教育研究所運営事業

- ・ 多様化・複雑化している教育現場を支援するための調査・研究を行い、更なる教育の振興・発展のため、今日的な教育課題に即応した研修や事業を展開した。
- ・ 学校教育指導員(2人)、専任所員(1人)、GIGA スクールサポーター(1人)を配置した。
- ・ ICT 研修講座、学校図書館活用実践交流会、特別支援教育支援員研修会、英語教育ワークショップなどの各種研修・事業を実施し、スキルアップや実践交流を図った。

○ 外国語指導助手派遣事業

- ・ 小学校及び中学校全学校へ派遣し、英語教育の強化を図った。
- ・ 外国語指導助手 4～7月/2人、8～10月/1人、11月～3月/2人
- ・ 小学校派遣日数・授業時数 138日・328時間
- ・ 中学校派遣日数・授業時数 99日・239時間

○ 教育相談・不登校対策事業

- ・ 児童生徒の問題行動や不登校問題等の課題に対応した。
- ・ 教育相談所に学校教育指導員(1人)、スクールソーシャルワーカー(1人)、教育相談アドバイザー(1人)、就学前教育アドバイザー(1人)を配置し、保護者や関係機関との緊密な連携のもと、児童生徒の問題の早期発見・早期解決や相互の関係改善を図った。
- ・ 適応指導教室に学校教育指導員(3人)を配置し、不登校児童生徒に対し、教育相談、体験活動、教科学習等の支援を通じて、心の安定や意欲向上を図り学校生活への復帰を促進した。
- ・ 教育相談所や適応指導教室をはじめとする教育委員会関係者のほか、高等学校、大学、民生児童委員連絡協議会からなる教育相談スタッフ会議を8回開催し、見守りが必要な児童生徒に関する情報交換や連携を図った。
- ・ 小学校及び中学校や教育委員会関係者からなる学校適応指導委員会を2回開催し、学校に適応できない児童生徒にかかる指導の内容や方法について情報交換・協議を行い、効果的な指導につなげた。

○ 土曜授業推進事業

- ・ 土曜日に学校・家庭・地域が連携し、多様な学習、文化やスポーツ、体験活動等の機会を設け、豊かな教育環境・充実した学習機会を提供した。
- ・ 実施校 5校
(稚内中学校 10回、稚内南中学校 9回、稚内東中学校 6回、宗谷中学校 13回、潮見が丘中学校 10回)

- ・大学のオープンキャンパス、地域活動(古紙回収)、地域講師による講話(手話教室、認知症サポータージュニア養成講座、人権教室等)など、様々な体験活動や学習を通して、興味や関心が広がり、将来の夢や希望について考える機会となった。
- スクールソーシャルワーカー活用事業(北海道からの委託事業)
 - ・問題を抱えた児童生徒に対し、そのおかれた環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなど、多様な支援方法で課題解決への対応を図った。
 - ・教育相談所に2人を配置した。(支援件数 不登校・家庭環境・発達障がい等に関する支援など計138件)
- 放課後学力グングン塾開催事業
 - ・基礎学力の定着を図るため、3・4年生を対象に、放課後や長期休暇期間中、国語、算数の学習支援を行った。
 - ・学校教育指導員 6人
 - ・実施校 4校(稚内中央小学校45人、稚内南小学校60人、稚内東小学校55人、潮見が丘小学校56人)
- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(特別支援教育支援員の配置)
 - ・学校における生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行った。
 - ・支援員 21人
 - ・配置校 8校(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、稚内中学校、稚内南中学校、稚内東中学校、潮見が丘中学校)
- 小学校教育振興事業(学校図書館協力員の配置)
 - ・新書や季節の本の特設コーナーを設置するなど、学校図書館の利用促進につながるような環境整備や、読み聞かせや市立図書館との連携を通じて読書活動の推進を図った。
 - ・協力員を9小中学校に5人配置した。
- 小学校教育振興事業・中学校教育振興事業(学力検査の実施)
 - ・CRT 学力検査(小学校～国語・算数、中学校～国語・数学・英語)を小学校全学年及び中学校1、2学年で実施し、各校の現状を分析し、指導方法の工夫・改善に向け取り組んだ。
- ICT環境整備事業(小学校・中学校)
 - ・市内小中学校8校にGIGAスクール専用無線LAN環境を整備した。
 - ・ICT教育を推進するため、平成30年度からリースにより整備している実物投影機、大型テレビを活用して授業を進めた。
 - ・ICT機器の整備に並行して、教育研究所によるICT研修講座を通し、活用方法について学ぶ機会を提供した。
- 中学校整備事業 ※新規
 - ▽宗谷中学校整備工事及び器具購入費
 - ・宗谷中学校水産棟の更新工事及び備品等の整備

- 稚内中学校整備事業 ※新規
 - ▽稚内中学校改築地形測量業務委託
 - ・ 稚内中学校改築に伴う建設区域の測量業務委託
- 部活動指導員配置促進事業
 - ・ 中学校における部活動指導体制の充実のため、部活動指導員を配置し、担当する教職員の支援とともに、技術の向上、適切な練習方法による事故やケガの未然防止を図った。(稚内南中学校1人、宗谷中学校1人)
- 教員住宅整備事業(令和2年度繰越事業)
 - ▽大岬小学校教員住宅新築工事 木造2階建て 1棟4戸 延床面積 278.3 m²

【地域との連携による家庭・地域教育の向上】

〈129・171・191 ページ〉

- 児童虐待の防止
 - ・ 児童福祉法に基づく要保護児童対策地域協議会として位置付けられる「児童問題連絡会」において民生児童委員等関係機関を対象とした研修会を実施した。
- 学校評議員設置事業
 - ・ 開かれた学校づくりの推進と、学校がより地域と連携・協力しながら特色ある教育活動を発展させるため、評議員を配置した。
 - ・ 評議員 50人(延べ20回実施)
- 学校給食センター管理運営事業、学校給食供給事業
 - ・ 実施回数及び給食数

	令和2年度		令和3年度	
	実施回数	食数	実施回数	食数
小学校	1,761回	309,168食	1,820回	317,795食
中学校	1,176回	162,291食	1,200回	164,164食
幼稚園・保育所	1,216回	84,446食	1,331回	84,141食
合計	4,153回	555,905食	4,351回	566,100食

- ・ 特色ある学校給食の実施
 - 小学校6校でセレクト給食を実施した。
(稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、潮見が丘小学校、稚内港小学校、声間小学校)
 - 季節行事食の提供(3回:子どもの日、クリスマス、ひなまつり)
 - 中学校卒業記念行事食(3年生を対象にデザートを提供)
- 栄養教諭による食の指導実施
 - ・ 小学校 10校 (40回)
 - ・ 中学校 5校 (13回)

○ 学校給食地場産物提供事業

- ・ 地元食材を利用した給食提供回数 99 回
 稚内ブランド 46 回（一夜干姫ほっけ、稚内牛乳、宗谷の塩、宗谷のもずく）
 地場産物(地元加工食品) 53 回（特製フランクソーセージ、さばの塩焼、ほっけのみりん焼き等）
- ・ 地元食材使用料理・郷土料理等の提供
 鶏ちゃん、各種すり身汁、呉汁、イモ団子汁、ジンギスカン、チャーメン、にんじんしりしり等

○ 学校給食費助成事業

- ・ 小中学校に通い、給食を受ける児童生徒の保護者に対して、1 年間の給食費の半額相当分を助成した。

	令和2年度			令和3年度		
	児童・生徒	助成人数	助成率(%)	児童・生徒	助成人数	助成率(%)
小学生	1,460 人	169 人	13.04	1,418 人	199 人	15.49
中学生	780 人	94 人	14.11	742 人	97 人	15.16
合 計	2,240 人	263 人	13.40	2,160 人	296 人	15.38

※助成率の算定に当たっては、児童・生徒数から生活保護及び就学援助該当者を除く。

○ 子どものための教育給付費支給事業

- ・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの就学前教育に要した費用を、特定教育施設へ支弁した。
- ・ 支給対象人員(延べ数)

	満3歳児	3歳児	4歳児以上	合 計
幼稚園(1号)	164 人	1,159 人	2,926 人	4,249 人
幼稚園(2号)	0 人	82 人	139 人	221 人
合 計	164 人	1,241 人	3,065 人	4,470 人

※ 1号認定：満3歳以上の学校教育のみ(保育の必要性なし)の就学前子ども

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

私立幼稚園児童数の状況(令和3年5月1日現在)

	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計
稚内ひかり幼稚園	0 人	17 人	28 人	24 人	69 人
稚内大谷幼稚園	0 人	12 人	17 人	10 人	39 人
稚内富岡幼稚園	3 人	26 人	28 人	30 人	87 人
稚内幼稚園	2 人	22 人	15 人	21 人	60 人
稚内鈴蘭幼稚園	0 人	27 人	45 人	38 人	110 人
広域利用	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
年 齢 別 合 計	5 人	104 人	133 人	123 人	365 人

○ 特定教育施設給食主食費助成事業

令和3年度 116件 560,500円（昨年度 131件 650,000円）

※特定教育施設に通う児童の食事の提供に要する費用のうち主食の提供に要する費用の一部を助成した。

【将来の夢や希望の実現に向けた高校・大学教育との連携強化】

〈171 ページ〉

○ 稚内北星学園大学修学支援事業（利子補給）

・ 貸付枠 5億円（預託金の5倍）

・ 利子補給率 1.125%

・ 貸付人員 5人（貸付額 3,300千円） 昨年度 7人（貸付額 4,800千円）

○ 稚内北星学園大学整備事業

・ 大学の校内ネットワーク整備に対する補助 14,016,000円

○ 稚内北星学園大学支援事業

・ 大学の健全な運営に対する支援（寄附金） 50,000,000円

○ 稚内大谷高等学校振興費補助事業

・ 父母負担軽減助成金 2,000,000円

・ 私立学校振興費 5,850,000円

○ 稚内市奨学金貸付事業（高校就学に必要な資金の貸付）

・ 貸付人員 12人（新規4人、継続4人、支度金4人）

○ 稚内市大学育英金支給事業（給付）

・ 支給対象者数 27人（新規4人、継続23人）

(2) 市民の学びを支える地域づくり

【誰もが気軽に学べる生涯学習の推進】

〈179・181・183・185 ページ〉

○ 社会教育推進事業

・ 地域指導者活用の促進

人材バンク活用の促進（登録数 89 団体、指導者数 46 人）

各分野の活動団体を紹介する「学びと遊びの玉手箱」をホームページへ掲載し、更に関係施設に配置するなどして学習の場を周知すると共に、掲載情報の更新作業を行った。

・ 稚内学の開設

「宮沢賢治、朗読で繋ぐ樺太の旅」

1 講座実施 受講者数 8 人

・市民講座の開催

	開催期間	講座内容	受講者数
前期	令和3年6月12日(土) ～8月10日(火)	「簡単エアロビクス」ほか 計6講座	42人
後期	令和3年10月12日(火) ～12月2日(木)	「心も体もリラックスゆったりヨガ」ほか 計8講座	65人
計		14講座	107人

○成人式典開催事業

開催日	開催場所	成人出席者数	対象者数
令和4年1月9日(日)	サフィールホテル稚内	225人	307人

○生涯学習総合支援センター管理運営事業

・生涯学習総合支援センター利用者数

		令和2年度	令和3年度
利用者数		13,236人	13,444人
内 訳	団体利用	12,576人	12,912人
	個人利用	135人	99人
	その他利用	525人	433人

○生涯学習運営事業

・生涯学習フェスティバルの開催

実施事業	実績
ハロウィン・ぬりえギャラリー	参加者443名(8幼稚園・保育園、5保育所)

○生涯学習活動支援事業

・生涯学習推進アドバイザーの配置及び派遣

アドバイザー2人を、生涯学習総合支援センターへ配置し、生涯学習相談の場を提供するほか、市民講座や市民グループの要請に応じて派遣。

・高齢者大学の開催

	講座数	受講者数(延べ人数)
楽生大学(声問地区)	6講座	74人
いきいき大学(前・後期)	7講座	33人

・子どもの広場の開催

	講座・コース数	受講者数
前期	7講座・10コース	児童54名
後期	5講座・8コース	児童65名

・ 風へる主催体験事業

風へるクラブ「キッズ木工教室」 前後期合わせて8回実施 参加者 13名

出前講座 実施日:令和3年11月12日(金) 1講座実施 参加者 生徒4人 引率3名 合計7人

○ 子ども会育成事業

実施事業	参加者数等	
	令和2年度	令和3年度
南極樺太犬慰霊祭	61人	63人
稚内市子ども会スポーツ大会	43人	30人

○ 青少年交流体験事業

実施事業	実施日	事業内容	受入・派遣人数
太田市交流事業(フレンドシップ 2021) 受入	—	交流体験学習、ソーラン交流ほか	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
青少年交流体験事業 てっぺん風の子交流団 派遣	—	交流体験学習、ソーラン交流、歴史的建造物・産業の視察	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○ 移動図書館運行事業

- ・ 運行日数 153日
- ・ ステーション数 36ステーション(月2回)
- ・ 利用者数 1,445人(貸出冊数6,175冊) (昨年度1,593人(貸出冊数5,880冊))

○ ブックスタート事業

- ・ 毎月、保健福祉センターで実施される7～8か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本2冊、読み聞かせアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」をプレゼント。(配布数175組)

○ 図書資料整備事業、図書館維持管理事業

・ 利用状況

	令和2年度	令和3年度
入館者数(開館日数)	45,695人(260日)	35,044人(242日)
貸出図書数(市民一人年間冊数)	124,682冊(3.82冊)	134,165冊(4.21冊)
総蔵書数(増加図書数)	225,223冊(7,667冊)	226,587冊(7,492冊)
有効登録者数(新規登録者数)※	2,690人(456人)	2,628人(430人)
AV視聴利用件数	1,252件	577件

※有効登録者数：年度内に図書の貸出を1回以上利用した実人数

- ・ 団体利用数 延べ146団体 (昨年度 延べ135団体)
- ・ ブックパック巡回 図書館で選書した学年層に合わせた図書(本のコンテナ:25冊)を一定期間で巡回させる。(14団体 幼稚園・保育園5、小学校6、中学校3)

○ 図書館活動事業

実施事業	開催数・参加者数等	
	令和2年度	令和3年度
映画会	22回開催／参加者数 147人	26回開催／参加者数 91人
読み聞かせ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
子ども読書週間	臨時休館のため時期を変更し、展示のみ実施	展示のみ実施
図書館フェスティバル	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
夏休み子どもアニメ上映会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	3回開催／参加者数 延べ 39人
図書館まつり	期間中 732人 来館 ※縮小して開催	期間中 942人 来館 ※縮小して開催
読書感想文コンクール	応募 15校 144編／入選者数 50人	応募 16校 102編／入選者数 44人
冬休み子ども映画会	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
社会科見学等受入	1件／11人	3件／52人
インターンシップ等受入	中学校 1校 1人	高校 2校、中学校 4校 計 6校 17人
職員派遣等協力	7件	8件

○ 図書館活動事業(図書館ボランティア団体との連携事業)

- ・ブックスタートボランティア ラッコの会(会員数 3人)
ブックスタート事業のボランティアとして、毎月、保健福祉センターで実施される7～8か月乳児健康相談に参加した親子に、絵本の読み聞かせや子育ての相談に応じる活動を実施
※新型コロナウイルス感染症の影響により活動休止
- ・わっかない図書館友の会(会員数 80人)
花壇整備、七夕飾り、アイスクャンドルなど実施(おはなし会、ロビーコンサート、ハロウィンイベント等は新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ・声の図書館(会員数 10人)
朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに声の広報として、毎月2回「広報わっかない」、生活情報として「生活の広場」や、リクエストに応じた朗読CDを作製、送付
「広報わっかない」12枚、「生活のひろば」12枚作成、送付件数 144件
- ・葉の会(会員数 8人)
朗読ボランティアとして目の不自由な方たちに、毎月1回北海道新聞「卓上四季」や、リクエストに応じた朗読CDを作製、送付
「卓上四季」12枚作成、送付件数 48件

○ 図書館活動事業(学校図書館支援事業)

- ・団体貸出の受け入れ 小学校 71件 1,956冊、中学校 10件 642冊
- ・学校図書管理システム(市内小中学校 10校)の管理・運用支援
- ・学校図書館ガイダンスの実施 小学校 7件 168人
- ・学校図書館活用交流会の開催(教育研究所との共催)
令和3年6月25日(金)、10月29日(金)の2回開催

○ 青少年科学館主催事業

・ 青少年科学館 天文普及事業

実施事業	令和2年度		令和3年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者
市民天体観望会	2回	47人	2回	19人
移動天体観望会	1回	28人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
天文現象観望会	1回	37人	—	—
プラネタリウム学習	随時開催	4校 147人	随時開催	5校 99人

※市民天体観望会は6回予定していたが、うち4回は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・ 青少年科学館 サイエンススクール事業

実施事業	令和2年度		令和3年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
オープンラボ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
サイエンスショー	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
わくわくサイエンス	8回	125人	5回	77人
サマースクール	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		1回	12人
夏休み自由研究	2回	34人	—	—
キッズチャレンジ	3回	33人	3回	27人
冬休み自由研究	1回	14人	1回	15人
大人のためのサイエンス工房	3回	26人	3回	13人
ちょこっとラボ	7回	227人	8回	191人
サイエンススタディ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
水族館&科学館「すいかまつり」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
サイエンスクラブ	5回	20人	5回	40人
ちょこっとサイエンス	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
白川英樹博士特別実験教室	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

・ 青少年科学館 プラネタリウム事業

実施事業	入場者数	
	令和2年度	令和3年度
プラネタリウム一般投影	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
「南極の夜空オーロラ」投影	950人	485人

・ 青少年科学館 科学普及事業

実施事業	実施日	入館者数
巡回展「いのちってなに？」	4月29日～6月30日	4,839人
巡回展「超人のからだーウサイン・ボルト 史上最速のひみつ」	8月3日～9月5日	7,640人
巡回展「ガガーリン 星への道」	9月20日～11月30日	4,793人
企画展「脳が騙される！？～ふしぎな錯視の世界」	2月22日～3月31日	1,875人

○ 青少年科学館管理運営事業

・ 青少年科学館入館者数

	令和2年度	令和3年度
入館者数	26,311人	26,958人
うち年間パスポート利用者数	延べ2,041人	延べ2,347人

○ 少年自然の家維持管理事業

・ 少年自然の家利用者数

	令和2年度	令和3年度
利用者数	4,044人	4,492人
内 宿泊者数	2,374人	2,924人
訳 日帰り者数	1,670人	1,568人

[利用別内訳]

	令和2年度	令和3年度
学校利用	94団体 2,020人	120団体 2,303人
社会教育団体利用	78団体 1,307人	81団体 1,479人
その他利用	50団体 717人	34団体 710人

・ 少年自然の家主催事業

実施事業	令和2年度		令和3年度	
	開催回数	参加者数	開催回数	参加者数
自然クラブ(日帰り及び宿泊)	4回	88人	5回	143人
わんぱくチャレンジ(日帰り及び宿泊)	4回	97人	3回	80人
わくわく土曜日(日帰り)	2回	49人	2回	39人
本気で自然体験(日帰り及び宿泊) 厳寒氷上穴つり	1回	33人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

※「自然クラブ」は年6回のうち1回、「わんぱくチャレンジ」は年5回のうち2回、「わくわく土曜日」は年4回のうち2回が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・ その他、少年自然の家の活動

	令和2年度	令和3年度
各学童保育所の受入れ	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
スポーツ合宿の受入れ	22団体/延べ1,436人	18団体/延べ1,092人

○ 水族館水族飼育事業、水族館施設維持管理事業

・ 水族館入館者数

	令和2年度	令和3年度
入館者数	26,311人	26,958人
うち年間パスポート利用者数	延べ2,041人	延べ2,347人

- 水族館夏期開館時間の延長(科学館と共同実施)

開館時間を 19 時 00 分までとし、2 時間 00 分の延長を実施

実施期間 令和 3 年 8 月 9 日(月)～8 月 16 日(月)

時間延長による入館者数 89 人(大人 61 人、小人 28 人)

- 水族館飼育体験学習

ペンギン・アザラシの飼育、給餌体験を通して動物とのふれあい

体験校 7 校、生徒数 20 人(昨年度 4 校、9 人)

- オープン企画展

	実施期間	入館者数
フラワー展	令和 3 年 4 月 29 日(木)～5 月 16 日(日)	3,813 人(大人 2,586 人、小人 1,227 人)

- 夏期企画展

	実施期間
ペンギンのお散歩夏	令和 3 年 8 月 1 日(日)～15 日(日)毎週 水・土・日 14 時 00 分～

- 冬期企画展

	実施期間	入館者数
とら年展	令和 4 年 2 月 22 日(火)～3 月 31 日(木)	1,875 人(大人 1,279 人、小人 596 人)

【生涯スポーツの推進】

〈187・189 ページ〉

- 日本最北端わっかぬい平和マラソン開催費補助事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりフルマラソン・ショートマラソンともに中止とした。

[開催日 令和 3 年 9 月 5 日(日)(中止)]

区分	令和 2 年度		令和 3 年度	
	エントリー	完走者	エントリー	完走者
フルマラソンの部	中止	中止	中止	中止
8kmの部	125 人	113 人	中止	中止
5kmの部	200 人	162 人	中止	中止
2kmの部	286 人	259 人	中止	中止
親子ペア(2 km の部)	中止	中止	中止	中止
合計	611 人	534 人	—	—

- 健康体力づくり推進事業

実施事業	参加者数等
体力づくり強調月間事業 (年齢別体力測定事業)	開催回数 1 回、参加者数 25 人(昨年度 1 回、20 人)
ニュースポーツの普及・啓発	・新体力テスト 4カ所、113 人 ・ニュースポーツ用具の貸出 56 件
ウォーキング事業	・歩こう会 開催回数 3 回、参加者数 68 人 ・JR 歩こう会 開催回数 1 回、参加者数 28 人 ・大歩こう会 新型コロナウイルスの影響により中止

○ スポーツ大会補助事業

補助金の名称	大会名
スポーツ全国大会出場補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・日本小学生バドミントン連盟創立 30 周年記念ジュニアバドミントンフェスティバル IN さいたま ・第 30 回全国小学生バドミントン選手権大会 ・第 1 回中学軟式野球大会愛知岐阜 Winter Cup

○ 市民スポーツ活動促進事業

実施事業	事業実績
各種市民スポーツ活動促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアスポーツ教室 9 教室、登録者数 177 人 ・親子スポーツ教室 15 組
スポーツ教室の開設	<ul style="list-style-type: none"> ・種目別スポーツ教室 4 種目 5 教室、受講者 66 人 ・チャレンジスポーツクラブ 受講者 35 人
スポーツ講習会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー講習会 受講者 66 人
市民皆スポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型競技大会実施奨励と助成 4 団体
指導者育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公認指導者の資質向上を図るため「スポーツ指導者研修会」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・公認指導資格取得及び資格更新講習会の参加交通費助成 1 人
体育施設利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング機器の有効活用とトレーニング知識の習得のための「トレーニングセミナー」 受講者 78 人
表彰事業	<ul style="list-style-type: none"> ・部門別功績賞(1 人)、スポーツ奨励賞(1 人)、功労賞(2 人)及び功績賞(3 人)並びに受賞祝賀会の実施
競技力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・全道レベルの強化事業及び研修事業参加助成 3 団体、3 事業 ・内部指導者等による研修事業開催助成 11 団体、21 事業 ・外部指導者等による研修事業開催助成 6 団体、6 事業 ・加盟団体主催強化事業助成 3 団体
競技力向上講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・6 種目 延べ 242 人 (内訳)剣道講習会 延べ 36 人 柔道講習会 延べ 30 人 バスケットボール講習会 延べ 47 人 サッカー講習会 延べ 68 人 杖道講習会 延べ 12 人 スノーボード講習会 延べ 49 人

○ 総合型地域スポーツクラブ補助事業

補助金の名称	内容
総合型地域スポーツクラブ育成支援補助金	稚内市スポーツ推進中期計画に定めるスポーツを通じた共生社会の推進を図るため、総合型地域スポーツクラブの設立を目的とする団体に対し助成(令和3年度実績:1団体)

○ スポーツ施設整備及び維持管理事業

・ 整備工事

施設名	内容
温水プール水夢館	高圧ケーブル入替工事、サウナ室天井改修工事、屋根復旧工事
総合体育館	地下タンク改修工事
大沼球場	大沼第2球場スコアボード改修工事
市営球場	投光器・架台補修工事
こまどりパークゴルフ場	暗渠排水管敷設工事
こまどりスキー場	第2ペアリフト整備工事

・ スポーツ施設利用状況

施設名	利用者数	
	令和2年度	令和3年度
総合体育館	29,183人	28,897人
市体育館	8,963人	8,292人
緑体育館	13,580人	11,582人
野球場(大沼球場、市営球場、若葉球場)	10,679人	8,731人
球技場(富士見球技場、若葉球技場)	3,624人	5,002人
ノシャップソフトボール場	127人	0人
庭球場(緑庭球場、宝来庭球場)	4,276人	4,101人
スキー場(こまどり・上勇知各スキー場)	17,582人	11,893人
パークゴルフ場(こまどり・ノシャップ公園各パークゴルフ場)	19,533人	18,387人
坂の下海水浴場	閉設	閉設
学校体育館開放(中央小、南小、東小、潮見が丘小、港小、東中)	16,963人	13,089人
みどりスポーツパーク	25,156人	29,464人
水泳プール(潮見が丘、沼川、水夢館) (うち温水プール水夢館)	56,665人 (56,665人)	47,226人 (46,810人)

※坂の下海水浴場については新型コロナウイルス感染症の影響により閉設

【芸術・文化活動の環境づくり】

〈181 ページ〉

○ 親子ふれあい映画鑑賞事業

- 親子をはじめとする家族や友人らと共に映画を鑑賞し、感動や楽しみを共有することで会話や交流の促進を図り、家族・友人間の絆を深めると共に、優れた芸術・文化としての映画に触れることで教養を高めることを目的とし、小中学生には無料映画鑑賞券、その保護者(長子保護者)には鑑賞補助券を配布した。

[令和3年度実績] 対象者 ・小中学生 2,184 人 ・保護者(長子保護者) 1,780 人

利用者(率) ・小中学生 1,369 人(62.68%) ・保護者 849 人(47.70%)

○ 稚内市民文化祭

実施事業	主催団体	開催場所	実施日
稚内市民書道展	稚内書道連盟	文化センター 小ホール	令和3年10月7日(木)～ 令和3年10月9日(土)
朔北美術協会展	朔北美術協会	文化センター 小ホール	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止
第60回市民俳句大会	市民俳句大会実行委員会	文化センター 美術室	令和3年9月5日(日)
二派合同華道展	池坊、東池坊	文化センター ロビー	令和3年10月7日(木)～ 令和3年10月9日(土)
合同茶会	宗徧流正伝庵、和敬会	文化センター 小ホール、婦 人文化室	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止
道民芸術祭・稚内市民総 合芸能祭	稚内市文化協会	文化センター 大ホール	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止
宗谷管内芸術祭短歌大 会・市民短歌大会	短歌大会実行委員会	市立図書館	令和3年10月20日(水)
混声合唱団稚内フラウエン コール定期演奏会	混声合唱団稚内フラウエン コール	文化センター 大ホール	新型コロナウイルス感染症 の影響により中止
わっかない子どもミュージ ックサークルエンジェルボ イスサマーコンサート2021	わっかない子どもミュージ ックサークルエンジェルボ イス	文化センター 大ホール	令和3年9月12日(日)

○ 文化事業(主催、共催)

- 第59回北海道吹奏楽コンクール稚内地区予選
 - 第43回稚内地区吹奏楽祭
 - 第44回稚内地区管楽器個人コンクール・第45回稚内地区アンサンブルコンクール
- ※「清水ミチコ トーク&ライブ 2021」、「第35回札幌交響楽団稚内定期演奏会」、「第19回 SO-YA 夢コール合同合唱祭」、「第60回稚内市総合芸能祭」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

【自然・歴史・産業などを学ぶことによる郷土観の確立】

〈181・185 ページ〉

○ 旧瀬戸邸維持管理事業

- ・ 旧瀬戸邸入館者数 3,324 人(昨年度 2,168 人)
- ・ 主催・共催事業の開催

実施事業	主催団体	実施日
ワークショップ「お花見茶会」	稚内和服でおもてなし実行委員会	令和3年5月9日(日)
ワークショップ「七夕茶会」	稚内和服でおもてなし実行委員会	令和3年8月7日(土)
ワークショップ「重陽の節句お茶会」	稚内和服でおもてなし実行委員会	令和3年10月10日(日)

○ 樺太記念館維持管理事業

- ・ 樺太記念館入館者数 6,785 人(昨年度 4,925 人)
- ・ 講座、特別展の開催

実施事業	実施日
企画展Ⅰ「樺太の街と暮らし～樺太連盟寄贈移動展パネルから～」	令和3年4月29日(木)～ 令和3年5月31日(月)
企画展Ⅱ「斉藤マサヨシ写真展 利尻富士百景 2021」	令和3年8月11日(水)～ 令和3年9月30日(木)
企画展Ⅲ「稚内と樺太のつながり～モニュメントからみた稚内と樺太」	令和3年11月12日(金)～ 令和4年3月31日(木)

- ・ 稚内市樺太記念館講座(稚内学特別講座)の開催
新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○ 北方記念館管理事業

- ・ 北方記念館入館者数 7,913 人(昨年度 6,880 人)
- ・ 企画展の開催

企画展	実施日
①北方記念館ミニ企画展 「稚内の鉄路-天北線の記憶-」	令和3年4月29日(木)～令和3年5月16日(日)
②宗谷管内巡回展「宗谷の近世」～又十藤野 家蝦夷地・北海道での足跡を探る～	令和3年7月1日(木)～令和3年8月30日(月)

○ 大鵬幸喜上陸の地記念碑除幕式典補助事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、式典の開催は延期となった。

(3) 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

【妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の充実】

〈129・131・135 ページ〉

○ ファミリーサポートセンター事業

- ・ 会員同士が子育ての相互援助活動を行う組織

区 分	令和2年度	令和3年度
お願い会員(依頼会員)	152 人	135 人
まかせて会員(提供会員)	38 人	35 人
両方会員	17 人	15 人
合 計	207 人	185 人

○ 子育てのための施設等利用給付費支給事業

	令和2年度		令和3年度	
	認可	認可外	認可	認可外
年間延べ登録者数	2,191 人	101 人	1,718 人	60 人
年間延べ利用者数	1,474 人	101 人	1,370 人	60 人
年間延べ利用件数	15,201 件	101 件	14,015 件	60 件
年間延べ支給額	5,031,400 円	3,270,955 円	4,620,300 円	1,952,575 円

○ 児童家庭相談援助事業

- ・ 要保護児童対策地域協議会の開催

	令和2年度	令和3年度
個別ケース検討会議	26 回	18 回

- ・ 家庭児童相談員を配置し、家庭における適正な児童養育、その他家庭児童福祉の向上を図るため、相談及び指導を行った。

[相談件数]

相談内容	令和2年度	令和3年度
養護相談(児童虐待含む)	75 件	68 件
障がい相談	0 件	1 件
非行相談	0 件	0 件
育成相談	11 件	5 件
その他相談	4 件	6 件
合 計	90 件	80 件

○ 母子家庭等自立支援事業

- ・ 母子・父子自立支援員を配置し、母子家庭等の自立支援及び相談にあたった。

[相談件数]

相談内容	令和2年度	令和3年度
生活一般(医療など)	22件	18件
児童(養育・就職など)	0件	0件
経済的支援・生活援護	32件	46件
合計	54件	64件

○ ひとり親家庭等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
母及び父、三親等	309人	30件	3,735件
児童	456人	29件	3,325件

○ 乳幼児等医療費助成事業

	対象者数	助成件数	
		入院	その他
小学校就学前	1,113人	214件	13,523件
小学生	1,133人	19件	9,102件
中学生	553人	13件	3,413件
高校生	551人	34件	3,394件

○ 保育所保護者負担助成事業

- ・ 子育て家庭に対する経済的負担の軽減を図るため、子どもが2人以上いる家庭へ保育料の一部を助成する
少子化対策事業

助成児童数 延べ69人 (昨年度 延べ76人)

助成金額 6,952,830円 (7,422,535円)

○ 児童手当支給事業

区分		3歳未満	3歳～小学校修了前	中学生
児童手当	被用者	3,618人	16,297人	5,982人
	非被用者	839人	3,267人	1,179人
特例給付		381人	1,651人	664人
合計		4,838人	21,215人	7,825人

○ 児童扶養手当給付事業

- ・ 父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立促進のために支給した。

区 分	令和2年度	令和3年度
全部支給者	1,904 人	1,716 人
一部停止者	1,547 人	1,595 人
2子加算	1,270 人	1,188 人
3子以降加算	322 人	337 人
合 計	5,043 人	4,836 人

○ 早期療育通園センター管理運営事業

- ・ 運動、知的、言語等の発達に遅れや障がい等があると思われる幼児等及びその家族に対して、児童福祉法に基づく児童発達支援(就学前児童)及び放課後等デイサービス(就学児童)としての指導及び相談を実施した。

[利用実績]

令和2年度		令和3年度	
延べ利用人数	うち他町村	延べ利用人数	うち他町村
2,557 人	479 人	2,320 人	416 人

○ 保育所管理運営事業

[令和3年度児童数] 5月1日時点

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計	定 員
白樺保育所	6人	12人	11人	13人	10人	12人	64人	100人
港保育所	3人	5人	10人	8人	6人	9人	41人	70人
(公立保育所 計)	9人	17人	21人	21人	16人	21人	105人	170人
富岡保育園	6人	14人	14人	11人	10人	13人	68人	60人
もぐもぐ保育園	—	1人	6人	7人	8人	8人	30人	30人
オアシス保育園	5人	11人	12人	12人	10人	9人	59人	60人
きらきら保育園	6人	12人	12人	10人	11人	12人	63人	60人
(私立保育所 計)	17人	38人	44人	40人	39人	42人	220人	210人
(市内保育所 計)	26人	55人	65人	61人	55人	63人	325人	380人
沼川保育所	—	—	2人	6人	7人	3人	18人	50人
勇知保育所	—	—	0人	2人	2人	1人	5人	30人
恵北保育所(休所)	—	—	—	—	—	—	—	30人
宗谷保育所	—	—	0人	17人	11人	16人	44人	60人
(へき地保育所 計)	—	—	2人	25人	20人	20人	67人	170人
豊富保育園	0人	0人	0人	1人	0人	1人	2人	120人
(広域利用 計)	0人	0人	0人	1人	0人	1人	2人	120人
合 計	26人	55人	67人	87人	75人	84人	394人	670人

○ 市立保育所整備事業

- ・ 公立保育所の再編(港保育所を廃止し、白樺保育所に集約)に伴い、集約先である白樺保育所の保育室等を整備した。※白樺保育所整備工事(保育室増改築、玄関サッシ改修、遊戯室照明改修、厨房床補修)

○ 子どものための保育給付費支給事業

- ・ 子ども・子育て支援法に基づく支給認定を受けた子どもの保育に要した費用を特定保育施設へ支弁した。支給対象人員

	乳児	1～2歳児	3歳児	4歳以上児	合計
保育所(2号)	—	—	485人	961人	1,446人
保育所(3号)	225人	981人	—	—	1,206人
合計	225人	981人	485人	961人	2,652人

※ 2号認定：満3歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

※ 3号認定：満3歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども

○ 病児保育事業

[利用状況]

	令和2年度	令和3年度
登録者数	92人	55人
利用人数	5人	0人

○ 特定保育施設給食主食費助成事業

令和3年度 47件 379,200円 (昨年度 49件 403,200円)

※特定保育施設に通う食事の提供に要する費用のうち主食の提供に要する費用の一部を助成した。

○ 養育医療給付事業

- ・ 養育のため入院が必要な未熟児に対して、医療費の一部を給付した。

年度	令和2年度	令和3年度
給付実績	5人	7人

○ 妊婦健康支援事業、産婦健康支援事業、特定不妊治療費助成事業

事業内容	区分	令和2年度	令和3年度
マタニティ教室	実施回数	13回	13回
	受講者数	97人	98人
育児教室	実施回数	5回	5回
	受講者数	36人	35人
妊婦健康診査	受診件数	3,156件	3,210件
産婦健康診査	受診件数	309件	324件
特定不妊治療費助成事業	助成人数	18人	19人
こんにちは赤ちゃん事業	訪問者数	136人	123人

○ 乳幼児健診・相談事業、親子健康教育事業、乳幼児歯科健診事業

事業内容		区分	令和2年度	令和3年度	
乳幼児健康診査等	3～4か月児 健康診査	健診回数	13回	12回	
		受診者数	203人	168人	
	7～8か月児 健康相談	相談回数	13回	12回	
		受診者数	189人	176人	
	1歳児 健康相談	相談回数	12回	12回	
		受診者数	188人	182人	
	1歳6か月児 健康診査	健診回数	13回	12回	
		受診者数	193人	173人	
	3歳児 健康診査	健診回数	13回	12回	
		受診者数	236人	173人	
	股関節脱臼検診		検診回数	11回	12回
			受診者数	200人	172人
母子訪問		実施者数	713人	635人	
親子のクッキング教室		実施回数	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
		受講者数			
フッ化物塗布事業		実施回数	32回	31回	
		実施者数	677人	672人	
サホライド塗布事業		実施回数	32回	31回	

【子育て環境の充実】

〈129・131・133 ページ〉

○ 子育て支援サービス利用者支援事業

- ・ 子育て応援サイト・アプリ え〜る

[利用状況]

	令和2年度	令和3年度
Web サイトアクセス数	62,072 件	81,823 件
アプリユーザー数(延べ)	554 人	665 人

○ 地域子育て支援事業

年度	箇所数	交流の場利用者数		相談件数	情報提供件数
		子ども	保護者		
令和2年度	3か所	6,279人	5,019人	295件	1,584件
令和3年度	3か所	4,584人	3,775人	364件	1,427件

○ 児童館管理運営事業

- ・ 児童館活動、「子ども通貨タラ」事業

[利用状況 (※その他利用を除く)]

	令和2年度	令和3年度
中央児童館	3,052 人	2,822 人
東児童館	6,882 人	7,555 人
富岡児童センター	3,803 人	2,914 人
港ふれあいセンター	2,799 人	1,691 人
南児童館	5,134 人	5,223 人
合 計	21,670 人	20,205 人

○ 学童保育所管理運営事業

[利用状況 (年間平均登録児童数)]

名称 (定員)		令和2年度	令和3年度
中央学童保育所	(35)	19 人	21 人
緑学童保育所	(60)	46 人	53 人
東学童保育所	(35)	56 人	68 人
富岡学童保育所	(65)	34 人	44 人
合 計		155 人	186 人

○ 放課後子ども教室推進事業

[利用状況]

	令和2年度	令和3年度
声問小放課後子ども教室	1,541 人	1,395 人
増幌小放課後子どもふれあい教室	1,503 人	549 人

○ 認定こども園施設整備補助事業

- ・ 幼児教育と保育を一体的に提供する認定こども園の施設整備を推進し、子どもを安心して育てることができる子育て環境を築くため、当該認定こども園を整備する者に対して、予算の範囲内において補助金を交付した。

《実績等》

稚内市認定こども園施設整備事業補助金 352,271,000 円 (昨年度 70,890,000 円)

認定こども園の概要

設置主体 : 学校法人 稚内鈴蘭学園

施設名 : 認定こども園稚内鈴蘭幼稚園・保育園

施設種別 : 幼保連携型認定こども園

施設住所 : 稚内市港3丁目6番12号

延床面積 : 鉄骨造り2階建て 1651.77 m²

利用定員 : 207名(1号認定:132名、2号認定:45名、3号認定:30名)

開設 : 令和4年4月1日

○ 子育て推進事業

- ・ 子育ての日事業(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)
- ・ 子育て平和の日記念式典の開催
開催日等 令和3年9月1日(水)宗谷岬公園
出席者数 111人(昨年度121人)
- ・ 平和折り鶴祭の開催
開催期間 令和3年7月30日(金)～8月11日(水)
展示場所 中央商店街アーケード、市庁舎、市立図書館、キタカラ
展示数 18万1,028羽
- ・ 平和学習の充実(平和学習資料の配布、稚内市子ども会議 ほか)
- ・ 子育て意識啓発(宗谷教育講演会、全市子育て運動交流研修会の開催)

○ 稚内市子ども安全育成センター運営事業

- ・ 街頭育成補導活動
定例、特別街頭育成補導の実施(年28回 73人参加)、専任育成員による街頭育成補導活動
- ・ 「校外生活のためあて」配布(配布数 市内小中高校生 2,800人)
- ・ 非行防止ポスター、標語の募集(ポスター 101点、標語 406点)
- ・ 有害環境の浄化(有害図書類取扱店立入調査 ほか)
- ・ スクールガードボランティア登録数 市内6地区397人(令和4年3月31日)
- ・ 安全・安心マップ配布(市内小学校307枚) 新1年生291枚、掲示用配布16枚

安らぎの空間に笑顔あふれる“基盤づくり”

(1) 時代に適応した公共交通・都市間交通の整備

【持続可能な地域公共交通の確保】

〈101・109 ページ〉

- 市内生活交通路線維持事業
 - ・ 3 路線(富士見線・坂の下線・声問線):利用者数 236,900 人(昨年度 235,802 人)
 - ・ 曲浜線は令和 2 年 3 月 31 日で廃線し、乗合タクシーへ統合。
 - ・ 曲浜線を含む 4 路線の利用者数:令和 2 年度 245,074 人
- 稚内市地域公共交通活性化協議会補助事業
 - ・ 天北地区、恵北・増幌地区乗合タクシーの運行 利用者数 8,491 人(昨年度 7,545 人)
 - ・ 勇知・抜海地区乗合タクシーの実証運行(運行期間 令和 4 年 2 月 1 日～令和 4 年 2 月 28 日)
運行日数 18 日 利用者数 47 人
 - ・ 稚内市地域公共交通活性化協議会の開催 3 回
- 天北線生活交通路線維持事業
 - ・ 5 路線:利用者数 76,388 人(昨年度 81,715 人)

【交通基盤整備の推進】

〈101 ページ〉

- 宗谷本線活性化推進事業

実施事業	事業内容	実施日・参加人数等
宗谷線特急列車車内での特産品販売	稚内市、稚内商工会議所、稚内観光物産協会合同で特急列車の乗客に対して、稚内ブランドなどの特産品を販売する。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
JR宗谷線ぬり絵募集事業	稚内市に住んでいる幼稚園・保育所の園児に、列車のぬり絵を通じてJRを知ってもらい機会を作り、より興味や関心をもってもらうことを目的に実施した。	3 歳以上の幼稚園・保育所の園児から応募作品数:233 点
のんびり普通列車で行く！秋の上勇知満喫ツアー	はじめに駅長の講話を聴き、その後、稚内駅から勇知駅までJRを利用し、「上勇知ふるさと資料室・画廊」や「小さなギャラリー」を見学するほか、上勇知でのピザづくり体験などを行う。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
ちよい旅ウォーキング	はじめに駅長の講話を聴き、その後、稚内駅から豊富駅までJRを利用し、豊富駅から豊富温泉までウォーキングを実施した。	令和 3 年 10 月 3 日(日) 参加者数:28 人

実施事業	事業内容	実施日・参加人数等
宗谷線観光列車「花たびそ うや」号へのおもてなし	宗谷線の活性化と鉄道利用促進を目的に宗谷線 観光列車「花たびそ うや」号が運行されることに伴 い、稚内市、稚内観光協会、稚内市民観光ボラン ティアガイドなど関係団体と連携を図り、ゆるキャラ による出迎えや見送りのほか、ノベルティの配布な ど、稚内を訪れた乗客を歓迎する。	新型コロナウイルス感染 症の影響により中止

○ 抜海駅維持管理事業 ※新規

- ・ 駅舎等の点検・修繕に係る費用や除雪作業に係る費用等、抜海駅の維持管理に必要な費用を負担した。

【空港の活性化と就航率の向上】

〈165 ページ〉

○ 稚内空港整備国直轄事業〔総事業費 110,392,000 円 (うち、市負担金 2,172,121 円)〕

事業箇所	事業概要
稚内空港	用地造成一式、電源施設一式

(2) 安全・安心な都市基盤の整備と安らぎと笑顔が見える空間の創出

【維持管理と改築更新の計画的な実施】

〈159・161・165 ページ〉

○ 道路ストック整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 市内幹線道路舗装整備工事
声問更喜苔内線(L=280m)
- ・ 市内幹線道路舗装整備付帯工事

○ 道路・河川大雨対策事業

- ・ 管路浚渫業務委託
- ・ 河川監視カメラ設置工事(チララウスナイ川、シュルコマナイ川)
- ・ 恵比須 2 丁目地内排水調査業務委託

○ 副港通道路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)

- ・ 副港通道路整備工事(L=100m)
- ・ 副港通道路整備付帯工事

- 単独地方道路整備事業
 - ・ はまなす 5 号通側溝整備工事(L=80.2m)
 - ・ 緑栄 1 号通側溝整備工事(L=100m)
 - ・ 萩見 7 条通側溝整備工事(L=81m)
 - ・ 朝日 8 条通道路整備工事(L=76.6m)
 - ・ クサンル川護岸整備工事(L=50m)
 - ・ 緑富岡環状線歩道整備工事(L=220m)

- 橋梁長寿命化整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 橋梁長寿命化補修工事
若草大橋補修工事(橋脚補修一式)
 - ・ 橋梁長寿命化補修付帯工事
 - ・ 橋梁定期点検業務負担金 点検数 3 橋
 - ・ 橋梁整備設計業務委託

- 緑・富岡環状通街路整備事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 緑・富岡環状通家屋調査業務委託
 - ・ 緑・富岡環状通街路整備工事(L=270m)
 - ・ 緑・富岡環状通街路整備付帯工事
 - ・ 土地購入、移転補償

- 稚内港ふ頭保安管理事業
 - ・ 中央ふ頭、末広ふ頭、天北 1 号ふ頭、天北 2 号ふ頭の SOLAS 条約による制限区域内の 24 時間体制警備

- 稚内港改修国直轄事業〔総事業費 545,000,000 円(うち、市負担金 132,189,180 円)〕

事業箇所	事業概要
北地区	護岸(防波)(北)(改良)一式
第一副港地区	岸壁(-5m)(改良)一式

- 宗谷港改修国直轄事業〔総事業費 147,600,000 円(うち、市負担金 26,633,112 円)〕

事業箇所	事業概要
本港地区	道路(東)一式
本港地区	護岸(防波)(東)(改良)一式

- 稚内港改修国庫補助事業

事業箇所	事業概要
港地区	物揚場及び岸壁 L=8m
港地区	道路改良 L=55m

○ 稚内港改修単独事業

事業箇所	事業概要
港地区	第一副港船揚場浚渫 一式

○ 海岸保全国庫補助事業

事業箇所	事業概要
潮見地区	護岸改良 L=204m、ブロック製作一式

【安全・安心な住環境の確保】

〈107・139・159・161・163・165 ページ〉

○ 地域情報通信基盤維持管理事業

- ・ 通信事業者によるブロードバンド未整備地区での高速インターネット利用環境実現のために整備した光ケーブル等設備の維持管理を行った。

【整備対象地区】

声問地区、西浜地区、恵北地区、樺岡地区、沼川地区、曲淵地区、川西地区、川南地区、開進地区、豊別地区、上声問地区、更喜苦内地区、天興地区、曙地区、抜海地区、クネベツ地区、勇知地区、オネトマナイ地区、富士見地区、宗谷地区、増幌地区、清浜地区、富磯地区、宗谷岬地区、東浦地区、市街地一部

整備地域世帯数	加入数(令和3年度)	総延長距離数
3,048 件	1,517 件(加入率 49.8%)	234 km

○ 街路灯管理事業

- ・ 公共灯 LED 化整備工事【土木課管理分】

整備数 618 灯

LED 化率(累計) 100%(平成 30 年度にLED化率 100%)

- ・ 街路灯設置助成金【防犯灯】 204 基
各町内会に設置費の 2/3 以内を助成
申請町内会件数 24 町内会
- ・ 街路灯電気料助成金【防犯灯】 3,590 灯
各町内会に電気料の 8/10 以内を助成
申請町内会件数 63 町内会

○ 都市公園等維持管理運営事業

- ・ 公園維持補修
ちびっこ広場維持補修、市内各公園施設維持補修
- ・ 公園維持管理
指定管理者制度等の業務委託を活用した維持管理 (都市公園 19 箇所、その他 2 箇所)

- 街区公園等整備事業
 - ・ 遊戯施設改築工事(天北緑地)
 - ・ 都市公園施設長寿命化計画策定業務委託(都市公園 20 箇所の計画更新)

- 稚内公園整備事業
 - ・ 擁壁改修工事
 - ・ 水道ポンプ更新工事

- 市営住宅個別改善事業(社会資本整備総合交付金事業)
 - ・ 長寿命化に関する実施設計(配管改修)
末広団地(1 棟 24 戸)
 - ・ 長寿命化に関する工事
【配管・建具改修】 潮見団地(1 棟 27 戸)
【屋根・外壁改修】 末広団地(1 棟 24 戸)・声問団地(1 棟 8 戸)

- 空き家対策事業
 - ・ 老朽危険空き家除却費補助金実績 0 件 (昨年度 1 件 500,000 円)
 - ・ 稚内市空家等対策協議会の設置 2 回開催

- 稚内港維持管理事業
 - ・ 公共灯 LED 化整備工事【港湾空港課管理分】 20 基
中央埠頭 20 基
整備数(累計) 170 灯/643 灯
LED 化率(累計) 26.4%

- 浄水場等整備事業
 - ・ 萩ヶ丘浄水場耐震補強に伴う機械設備更新工事(No.1 フロキュレーター ほかに)
 - ・ 北辰ダム・大沼ポンプ場監視装置更新工事(ITV 制御盤 ほかに)
 - ・ 萩ヶ丘浄水場耐震補強に伴う電気設備更新工事(沈殿池動力制御盤 ほかに)
 - ・ 萩ヶ丘浄水場耐震中央監視装置更新工事(ITV 制御盤 ほかに)
 - ・ 北海道生活基盤施設耐震化等事業(道補助事業)
基幹水道構造物の耐震化事業(萩ヶ丘浄水場耐震補強工事)
 - ・ 萩ヶ丘浄水場配水池水位計更新工事 2 台
 - ・ 萩ヶ丘浄水場無停電電源装置更新工事 4 台

- 導水・配水施設整備事業
 - ・ 北海道生活基盤施設耐震化等事業(道補助事業)
老朽管更新事業(旧導水管撤去) L=186m
重要給水施設配水管事業(旧管撤去) L=216m

- ・ 港2号通配水管布設替工事 L=230m
- ・ 富岡13条通配水支管布設工事 L=48m
- ・ 抜海地区水道管布設替工事 L=364m
- ・ 潮見ヶ丘幹線配水管布設替工事 L=332m
- ・ 声問24号通配水管布設替工事 L=445m

○ 雨水管渠整備事業

- ・ 中部第9排水区雨水管渠布設工事(ボックスカルバート 1,600mm×1,600mm、L=14m)
- ・ ウエンナイ川右岸排水区雨水管渠布設その1工事(φ250mm～700mm、L=558m)
- ・ ウエンナイ川右岸排水区雨水管渠布設その2工事(φ1,000mm、L=72m)

○ 水洗化普及促進事業

- ・ 合併処理浄化槽設置助成金実績 6件 4,750,000円 (昨年度 7件 4,950,000円)
※水洗化率 94.0%

【中心市街地の再生】

〈99・153 ページ〉

○ 庁舎整備事業

- ・ 市民への説明会開催
「基本設計(案)について」

開催日	場所	参加者数
令和3年11月6日(土)	総合文化センター 小ホール	6名
	風〜るわっかない 大研修室1	7名
	宝来地区活動拠点センター 軽体育室	3名
令和3年11月7日(日)	東地区活動拠点センター 軽体育室	12名
	総合文化センター 小ホール	4名
	南地区活動拠点センター 軽体育室	18名
令和3年11月8日(月)	勇知地区宿泊研修施設	6名
	宗谷支所 2階会議室	0名
令和3年11月9日(火)	少年自然の家 プレイルーム	0名
	沼川みのり公園 研修室A	9名

○ 地域交流センター管理運営事業

- ・ 利用状況 全体利用者数 759,924人 (昨年度 636,594人)
アトリウム・市民活動室利用団体数 156団体 (昨年度 198団体)
中心市街地活性化事業(自主事業) 14回実施 (昨年度 13回実施)

(3) 緊急時に備えた地域防災力の強化

【地域防災力の強化】

〈111 ページ〉

○ 自主防災組織育成事業

- ・ 令和4年3月31日現在の自主防災組織結成数

大黒三、大黒二、白樺、潮見第二、ひばり、声間、こまどり、緑ヶ丘、北四、ひかり、さくらヶ丘、南四、仲好、緑第二、末広、緑一、今恵、朝日町内会

合計 18 団体(令和3年度は1団体が新規に結成)

- ・ 「地域ごとの避難計画」作成支援

災害が発生した際、地域住民が安全に避難できるための計画である「地域ごとの避難計画」の作成を支援

令和4年3月31日現在の地域ごとの避難計画作成町内会数

抜海、西浜、豊浜、富士見、今恵、白樺、末広、声間、大黒二

合計 9 町内会(令和3年度は1団体が新規に作成)

- ・ 防災啓発

防災講演等の開催 計 10 件(うち、防災講演 8 件、防災訓練 2 件)

【災害時の迅速な情報収集と伝達手段の強化】

〈111 ページ〉

○ 防災情報収集・伝達事務

- ・ 防災情報メール配信サービス

登録者に対して災害情報や市民生活に関わる緊急のお知らせをメールで配信するもの。

〔配信情報〕

地震・津波・土砂災害等に関する気象情報、避難に関する情報、災害等に関連して発生した道路通行止め情報、小中学校休校情報、バス・タクシー・JR・フェリー・飛行機 運休情報等

〔登録件数〕 668 件(累計:6,433 件)

〔配信件数〕 180 件

内訳(重複あり)

気象警報 関連	土砂災害 関連	洪水警報 関連	道路通行 止め関連	公共交通 機関関連	臨時休校・ 休館関連	避難 関連
48 件	5 件	4 件	60 件	24 件	14 件	0 件
その他						
竜巻注意関連	停電関連	訓練・テスト関連	新型コロナウイルス感染症関連			
9 件	0 件	0 件	24 件			

【災害の発生を想定した対応】

〈111 ページ〉

○ 災害対策事業

〔主な備蓄品の令和4年3月31日現在の備蓄数合計〕

◇災害備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和3年度購入
毛布	5,157 枚	310 枚
コンパクトブランケット	5,040 枚	240 枚
敷マット	200 枚	—
防災マット	5,550 枚	1,000 枚
アルファ米(備蓄食糧)	3,500 食	1,750 食
飲料水(20)	1,146 本	450 本
簡易トイレ用袋	3,100 枚	1,200 枚
備蓄用トイレトーパー	1,272 本	636 本
液体ミルク	24 本	24 本
カセットガスストーブ	300 台	—
カセットガスコンロ	50 台	—
カセットガスボンベ	300 本	150 本
コンパクトLEDライト	66 個	—
避難所用屋内テント	22 張	—
避難所用間仕切4部屋セット	44 セット	—
照明器具(投光器)	9 台	—
発電機 1.6kva	7 台	—
発電機 2.5kva	1 台	—
コードリール	8 台	—
ジェットヒーター	1 台	—
ペットケージ	8 個	—
ガソリン携行缶	8 個	—
フラットコード	8 本	—
段ボールベッド	186 台	—
手指消毒剤	160 本	—
医療用マスク(50枚入)	877 個	—
フェイスシールド	110 枚	—
薬用泡ハンドソープ	168 本	—
ペーパータオル(200枚入)	154 個	—
シューズカバー(100枚入)	126 箱	—
使い捨て手袋(100枚入)	882 箱	—

備蓄品	備蓄数	うち令和3年度購入
非接触型赤外線体温計	44 台	—
ウェットティッシュ(200 袋入)	32 箱	—
防護服	110 着	—
トイレ用テント	88 個	—

◇福祉避難所 備蓄品

備蓄品	備蓄数	うち令和3年度購入
毛布	105 枚	—
飲料水(500ml)	4,416 本	—
アルファ米(備蓄食料)	2,350 食	—
寝具一式	105 組	—
折畳みベッド	105 台	—
パーテーション	105 枚	—

・避難所等看板の整備

避難所等看板 計 67 箇所(避難所:24 箇所、避難場所:43 箇所) 4か年で整備(ピクトグラム化)

◇令和3年度整備:既存避難所等の看板の取替(張替)、災害種別「洪水」の追加による看板の取替(張替)、施設名称変更に伴う看板の取替(張替)、新規設置

避難所(宗谷経済センター、港ふれあいセンター、稚内港小学校、東地区活動拠点センター、稚内東小学校、稚内東中学校、稚内高等学校、稚内大谷高等学校、潮見が丘小学校、富岡・はまなす地区活動拠点センター、潮見が丘中学校、稚内北星学園大学、稚内市自然体験施設、稚内市緑体育館、南地区活動拠点センター、稚内市みどりスポーツパーク、大岬小学校体育館、旧下勇知小中学校、旧樺岡小中学校、旧曙小学校、増幌小中学校、天北小中学校)

避難場所(旧上勇知小中学校、増幌コミュニティセンター、沼川コミュニティセンター、旧豊別小中学校、旧上修徳小中学校、旧曲渕小中学校、旧東浦小中学校、マタルナイ地区裏山、旧稚内西小中学校裏山、旧稚内西小中学校、宗谷岬公園、稚内市総合勤労者会館、稚内市勤労青少年体育センター、稚内市総合体育館、北コミュニティセンター、稚内中学校、宝来地区活動拠点センター、稚内中央小学校、稚内市体育館、稚内総合文化センター、稚内市保健福祉センター、稚内鈴蘭幼稚園、稚内南小学校、稚内南中学校、旧更喜苔内小学校、富磯小学校、宗谷小学校、宗谷中学校)

○ 総合防災訓練実施事業

・ 総合防災訓練の実施

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、職員のみでの訓練に縮小し実施。

[訓練想定] サロベツ断層帯北延長を震源としたマグニチュード7.6の地震が発生。稚内市では最大震度7の地震を観測し大津波警報が発表されたことから市内全域に避難指示を発令。

[訓練状況] 地震の発生を受け、町内会長を含めた地域住民数名が避難所である「稚内市みどりスポーツパーク」へ避難。避難者を受け入れるため施設管理者や居合わせた市職員と共に避難所開設準備および運営を実施。

[日 時] 令和3年8月2日(月) 13時30分～15時

[場 所] 稚内市みどりスポーツパーク

[訓練内容] 避難所開設、避難所運営

[参加人数] 60名

地域の資源を活かした魅力ある“仕事づくり”

(1) 次代へつなぐ魅力ある第1次産業の持続的発展

【日本一の漁場が育む漁業の維持・発展】

〈149・151 ページ〉

○ 漁場整備事業費補助事業

- ・ 沿岸地域における豊かな水産資源の確保及び漁場環境の維持・向上を目的とした漁場整備事業のうち、藻場再生に対し補助金を交付した。

魚粕 18t散布

総事業費 3,747,900円 市補助金額 1,159,266円

○ 水産加工施設整備事業費補助事業

- ・ 輸出促進のため、輸出先のHACCP基準を満たす施設整備や保健所による衛生管理の評価基準を満たし、かつ、水産加工品の品質向上を目指した施設整備に対し補助金を交付した。

ホタテ玉冷用ランク選別機

総事業費 27,830,000円 市補助金額 10,000,000円

○ 水産加工業振興助成事業

- ・ 水産加工残滓を産業廃棄物処理事業者が収集し、又は運搬し、稚内市バイオエネルギーセンターで処理する場合に発生する経費に対し助成金を交付した。

利用者 11事業者

数量 117.06t

助成金 1,814,430円(1t当たり15,500円の助成)

○ 資源育成強化対策事業費補助事業

- ・ 漁業資源増大、生産性向上を目指し、漁業者自らが行う資源育成事業及び調査試験事業で漁業振興を図る取り組みに対し補助金を交付した。

稚ウニ放流 40万粒

総事業費 4,448,700円 市補助金額 2,024,350円

稚ナマコ種苗 生産：幼生69万粒、稚ナマコ52万2千個

放流：幼生69万粒、稚ナマコ40万6千個

総事業費 4,635,821円 市補助金額 1,374,153円

○ 水産資源増養殖実証試験・研究事業費補助事業

- ・ 民間企業が独自に増養殖事業を行い、本市の水産資源の増大に繋がる増養殖手法を確立する取り組みに対し補助金を交付した。

稚ウニ入手、孵化、畜養、生育調査

総事業費 2,781,187円 市補助金額 800,000円

○ 沿岸漁業担い手育成事業費補助事業

- 沿岸漁業の活性化を担う漁業を志す者又は漁業就業者の育成を図る取り組みに対し補助金を交付した。
資格取得研修 7名

総事業費 499,340円 市補助金額 239,670円

○ 水産振興制度資金支援事業

- 稚内市漁業近代化資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和3年度	88件	790,300千円	5,968千円
令和2年度	93件	805,700千円	6,859千円

- 稚内市漁業近代化資金保証料補給金 ※新規

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	保証料補給金
令和3年度	11件	137,500千円	79千円

- 水産加工経営安定化資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和3年度	11件	新規申請なし	146千円
令和2年度	13件	新規申請なし	672千円

- 稚内市ホタテガイ災害対応資金利子補給金

年度	利子補給対象件数	資金借入承認額	利子補給金
令和3年度	5件	—	78千円
令和2年度	22件	—	582千円

- 稚内市ホタテガイ災害対応資金保証料補給金

年度	保証料補給対象件数	資金借入承認額	保証料補給金
令和3年度	5件	175,000千円	4,304千円
令和2年度	9件	285,000千円	6,153千円

○ 海獣類漁業被害防止対策事業費補助事業

- トド及びアザランによる漁業被害の防止・軽減を図ることを目的として対策を実施する事業に対し補助金を交付した。

総事業費 1,033,736円 市補助金額 449,295円

○ 海洋ごみ回収処理推進事業

- 漁業者自らが操業中にボランティアで回収したロープやプラスチック容器などの「海洋ごみ」を処分した。

処分量 4.9トン 総事業費 602,635円

【広大な農地から供給される農畜産物の生産力向上】

〈145・147 ページ〉

○ 稚内市グリーンパートナー推進協議会運営費補助事業

- 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での「交流会」や「セミナー」を開催することはできなかったが、農業後継者と独身女性とのオンライン交流会の実施や、同じくオンラインによる婚活セミナー・研修会に参加したほか、農業者専門婚活サイトへの登録料助成を行った。(助成人数:酪農男性1名)

実施事業(すべてオンライン)	参加者
①第1回オンライン交流会(10月) (稚内市グリーンパートナー推進協議会 単独事業)	酪農男性5名、女性5名
②北海道ふれあい交流会(11月) (北海道農業公社主催事業)	酪農男性6名、女性7名
③全道グリーンアドバイザー研修会(11月)	農業委員会事務局
④男性婚活セミナー(2月)	農業委員会事務局
⑤第2回オンライン交流会(3月) (稚内市グリーンパートナー推進協議会 単独事業)	酪農男性3名、女性5名

○ 酪農ヘルパー事業費補助事業

	加入戸数	利用延日数	補助額
稚内農業協同組合	56戸	1,757.5日	10,330,000円
北宗谷農業協同組合沼川支所	57戸	1,188日	6,630,000円
合計	113戸	2945.5日	16,960,000円

○ 農業関係利子補給金等事業

- 農業経営基盤強化資金(経営改善措置の実施に必要な長期資金)に対する利子補給金

	件数	融資残高	利子補給額
稚内農業協同組合	5件	13,830,299円	45,854円
北宗谷農業協同組合沼川支所	8件	43,545,776円	138,959円
その他	1件	348,375,000円	893,627円
合計	14件	405,751,075円	1,078,440円

○ 新規就農者支援事業費補助事業

- 補助金支給実績

補助金等の名称	支給内容	令和2年度	令和3年度
経営自立補助金	年間賃借料の1/2相当額を5年間補助	7人	6人
経営安定補助金	施設等の固定資産税相当額を3年間補助	4人	3人
営農実習奨励金	営農実習開始時から1ヶ月10万円以内の額を2年以内の期間で補助	0人	0人
経営開始奨励金	経営開始時に一時奨励金(100万円)を支給	0人	1人

○ 中山間地域等直接支払交付金事業

- ・ 農業の生産性、付加価値向上などによる農業収益の向上、耕作放棄地の防止及び農村の活性化を図ることを目的に、農業者に対して交付金を直接支払う制度

集 落 数	参加農家戸数	対 象 面 積	交 付 金 額
2	139 戸	110,793,697 m ²	166,190,545 円

○ 家畜自衛防疫事業

- ・ 牛の子防注射の費用の一部を助成

稚内農業協同組合	8,273 頭 (うち補助対象 7,585 頭)
北宗谷農業協同組合沼川支所	7,388 頭 (うち補助対象 6,655 頭)

○ 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

- ・ 地域の畜産の収益性の向上に資する施設及び当該施設と一体的な設備の整備に要する経費の一部を支援した。

事業地区	施設概要	補助対象額	補助金額
川西地区	家畜飼養管理施設等整備工事【フリーストール牛舎・家畜排せつ物処理施設・家畜飼養管理施設付帯設備(装置・機械)】	969,435,918 円 (工事費)	385,991,000 円
開進地区	家畜飼養管理施設等整備工事【フリーストール牛舎・家畜排せつ物処理施設・家畜飼養管理施設付帯設備(装置・機械)】	894,630,000 円 (工事費)	368,782,000 円
増幌地区	家畜飼養管理施設等整備工事【フリーストール牛舎・家畜排せつ物処理施設】	385,000,000 円 (工事費)	151,341,000 円

○ 農業基盤の整備〔道営事業〕

地 区 名	事 業 名 (事業年度)	事 業 概 要
稚 内 第 3	道営草地整備事業 (令和2年度～令和6年度)	草地整備改良 667.4ha 草地造成改良 2.8ha 用排水施設整備 206.4ha
沼 川 南	道営草地整備事業 (平成30～令和4年度)	草地整備改良 427.2ha 草地造成改良 4.5ha 用排水施設整備 57.1ha
増 幌	道営営農用水整備事業 (平成25～令和3年度)	送水ポンプ施設、配水管 L=18,305m 管理計装一式
樺 岡 第 2 ※新規	道営公共牧場整備事業 (令和3～令和10年度)	家畜保護施設 2 棟 管理施設、雑用施設、牧場用機械 草地整備改良 287.2ha
ク ト ネ ベ ツ ※新規	道営営農用水整備事業 (令和3～令和7年度)	送水施設、送配水管 L=14,050m

○ 大規模草地管理運営事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
育成牛	256,099 頭	267,648 頭	247,549 頭
哺育牛	69,129 頭	47,208 頭	36,976 頭
合 計	325,228 頭	314,856 頭	284,525 頭

【森林の多面的機能の発揮と林業の振興】

〈149 ページ〉

○ 豊かな森づくり推進事業 ※新規

- ・ 公共造林事業により実施した植林のうち、市が事業費の一部を補助した場合に道が市に補助する。
事業期間 令和3年度～令和12年度
循環利用タイプ 42.18ha

○ 市有林造林事業

- ・ 造 林：宗谷地区 5.00 ha（秋期造林 アカエゾマツ 10,000 本）
- ・ 下 刈：宗谷岬・東浦地区 42.80 ha
- ・ 間 伐：川西地区 22.00 ha
- ・ 保育間伐：東浦地区 9.00 ha

○ 緑化推進事業

- ・ 無料苗木配布 ブルーベリー 350 本

○ 市民植樹祭事業

- ・ エゾヤマザクラ 35 本、イタヤカエデ 50 本

(2) 活力に満ちた産業の育成と働きがいのある労働環境の充実

【地域資源を活かした高付加価値化の推進】

〈153 ページ〉

○ 物産振興対策事業

- ・ 稚内産品の知名度向上と販路拡大を図るため、道外物産展に参加した。
北海道の物産と観光展（茨城県水戸市）
「さっぽろオータムフェスト2021」、「北海道フェア in 代々木」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○ 稚内ブランド推進事業

- ・ 「稚内ブランド推進協議会」への支援を行った。
稚内ブランド総認定数:原材料 7 品、加工品 25 品、地域資源 4 点

【先端技術の導入とワークライフバランスの充実によるイノベーションの創出】

〈153 ページ〉

○ 中小企業振興事業

- ・ 稚内市中小企業振興基本条例で定める基本理念・基本方針に基づき、令和2年度から中小企業振興助成金の見直しを実施し交付した。

助成金の名称		令和2年度		令和3年度	
		事業者数等	交付額	事業者数等	交付額
販路拡大支援事業助成金		4社	689,287円	7社	1,546,525円
内 訳	特定展示会等出展事業	1社	55,887円	1社	209,465円
	新商品開発等事業	3社	633,400円	5社	1,037,060円
	ホームページ制作事業	-	-	1社	300,000円
新規創業者支援事業助成金		7人	3,517,750円	6人	2,587,193円
商店街空き店舗活用事業助成金		1人	620,000円	2人	608,989円
IoT等導入促進支援事業助成金		2社	600,000円	1社	300,000円
人材育成事業助成金		5社(7人)	240,000円	5社(14人)	397,040円
商店街活性化事業助成金		1商店街	500,000円	1商店街	500,000円

○ 先端技術普及促進事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業未実施

【地元企業と創る活力ある産業の育成】

〈143・153 ページ〉

○ 総合勤労者会館管理運営事業

- ・ 総合勤労者会館、勤労青少年体育センターの利用状況

[利用実績]

区 分	令和2年度	令和3年度
稚内市総合勤労者会館	17,762人	16,313人
稚内市勤労青少年体育センター	8,600人	7,097人

[サークル活動]

区 分	令和2年度	令和3年度
勤労青少年ホーム	6サークル	4サークル
働く婦人の家	73サークル	71サークル

○ 高等学校卒業生就職支援事業

実施事業	事業内容	参加者数	
		令和2年度	令和3年度
インターンシップ支援事業	在学中に望ましい勤労観や職業観を育成するための就業体験の支援を行った。	178人	276人
就職意識形成セミナー	企業人を講師に就職や働くことの意義などを生徒に理解させ、自ら考えさせるためのセミナーを開催した。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
合同企業説明会	地元求人企業の情報を提供し、企業に対する理解を深め、地元就職の促進を図った。	67人 (参加企業25社)	59人 (参加企業25社)

○ 「わからない産業クラスター研究会」への支援

- ・ 会員数 33人

○ 地元就職率向上・Uターン意識向上事業

- ・ 人口減少や有効求人倍率の全国的な上昇に伴う近年の労働者不足を鑑み、地元の中学生を対象に、より早いうちから地域の産業を知ってもらうとともに、将来的な就職の選択肢としての地域企業のPRを行い、より充実したインターンシップ、進学後の地元就職、Uターンの促進による将来的な労働力確保に繋げることを目的に地元企業PRフェアを開催した。

開催日等 令和3年11月11日(木) 稚内市総合体育館

タイトル わかる！働く！未来へつなぐジョブフェア2021

参加者数 中学生 249人(稚内中学校36人・稚内南中学校60人・稚内東中学校43人・潮見が丘中学校79人・宗谷中学校18人・天北中学校9人・増幌中学校4人)

企業 36社

主催 稚内商工会議所青年部・稚内市・稚内市教育委員会・稚内で働こう応援会議

○ 制度資金支援事業

- ・ 稚内市中小企業特別融資貸付

厳しい経営状況の中、中小企業のニーズに応えるため、低利の融資を斡旋し、保証協会の保証料を助成する中小企業特別融資を実施した。

	令和2年度		令和3年度	
	件数	実績額	件数	実績額
融資実績	171件	1,480,530,500円	147件	1,225,319,000円
保証料補給実績	197件	21,516,558円	155件	16,708,626円

(3) 資源から魅力への変換と世界からの交流人口の拡大

【広域による新たな体制づくりと観光客の誘致促進】

〈155・187 ページ〉

○ 広域観光振興事業

〔共同で実施した事業〕

- ・ 観光案内業務(稚内空港)【実施主体 宗谷観光連盟】
- ・ 旅行商品造成・プロモーションを目的とした旅行会社等の招請【実施主体 北海道観光振興機構】
- ・ サイクルツーリズムの推進に向けたセミナーの開催【実施主体 北海道観光振興機構】
- ・ スポーツ観光のPR動画作成及びJNTO公式サイトでの記事広告【実施主体 あさひかわ観光誘致宣伝協議会】

○ 合宿誘致推進事業費補助事業

令和2年度			令和3年度			種目内訳
種目数	団体数	延べ人数	種目数	団体数	延べ人数	
5種目	22団体	1,436人	5種目	18団体	1,092人	バレーボール、硬式野球、 カーリング、スノーボード、ボート

【魅力ある観光資源への変換と魅力の発信】

〈153・155 ページ〉

○ 観光振興事業

- ・ 観光客動態調査

調査箇所 ノシャップ岬・宗谷岬・稚内公園

アンケートサンプル数 2,733人

- ・ 観光入込客状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
観光入込客数	501,700人	265,100人	293,000人
宿泊客数	298,500人	183,700人	207,700人
宿泊客延べ数	366,300人泊	240,600人泊	274,400人泊
訪日外国人宿泊客延べ数	19,278人泊	491人泊	543人泊

- ・ 観光地域動向調査事業「稚内観光資源(白い道)調査」【実施主体 北海道運輸局】

調査箇所 宗谷丘陵「白い道」

アンケートサンプル数 733件 (現地調査 182件、デジタル調査 551件)

- ・ 地域おこし協力隊

内容 稚内観光協会での案内業務

体験コンテンツの造成及び実施(ホタテ貝殻絵付け体験)

台湾向け SNS における情報発信

台湾向け Web 広告における情報発信内容の制作

○ 誘致宣伝事業

- ・ 印刷物等の製作、各メディア等における広告・宣伝

	印刷物等の製作	各メディア等における広告・宣伝
実施内容	観光ガイドブック 60,000 部	○道内向け旅行雑誌「別冊 HO」 ○道内向けテレビ番組「ハレバレティモンディ」 ○ビジネス誌「日経 WOMAN」 ○台湾人向け訪日観光サイト「ラーチャーゴー」 ○タイ旅行博パンフレット「D.I.Y.HOKKAIDO」 ○市ホームページ及び SNS (Facebook、Instagram) による情報発信

○ 観光活性化促進事業

- ・ 観光客誘致促進事業補助金

事業主体 わっかない観光活性化促進協議会

主な事業内容 ・既存航空路線とタイアップした旅行会社の商品造成販促、WEB を活用した広告宣伝、国内プロモーションの実施など
・各イベントの実施

イベント名	来場者・参加者数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宗谷ふれあい公園スノーランド	8,124 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止
大沼バーニャビレッジ	-	-	16 人(テスト開催)
初日の出 in てっぺん	1,500 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	800 人
旧瀬戸邸冬季開館	2,450 人	980 人	2,115 人
ONSEN ガストロミーウォーキング	141 人	悪天候のため中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止

- ・ 稚内市、礼文町、利尻町、利尻富士町をマネジメントエリアとする観光地域づくり法人(地域連携 DMO) の形成
【令和4年3月28日付 候補法人として登録】

○ 観光施設等管理運営事業

事業名	来場者・参加者数		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
浜勇知展望休憩施設管理運営事業	11,190 人	3,656 人	4,544 人
大沼野鳥観察館管理運営事業	10,221 人	4,002 人	5,715 人
宗谷丘陵展望休憩施設管理運営事業	17,350 人	4,426 人	4,289 人
北の桜守資料展示施設管理運営事業	8,091 人	1,952 人	1,849 人
港ギャラリー管理運営事業	26,933 人	5,443 人	17,007 人

○ 各イベント開催補助事業

事業名	来場者数等		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
稚内みなと南極まつり	延べ 38,682 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
わっかない氷雪の広場	約 10,000 人	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
全国犬ぞり稚内大会	少雪のため両日中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	

【クルーズ船誘致と受入体制の構築】

〈165 ページ〉

○ 稚内港活性化事業

- ・クルーズ客船誘致のため、稚内市及び市内関係者とともに関内外船社6社に対し、ポートセールスを実施した。

(4) 地域特性を最大限に活かした産業の育成と企業誘致

【エネルギー産業の創出】

〈139 ページ〉

○ 環境基本計画推進事業

- ・第3次稚内市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の推進

計画期間 令和3年度～令和12年度

計画目標 二酸化炭素排出量を令和12年度で基準年度(平成25年度)比40%削減を目指す。

各課に配置している地球温暖化防止推進員が点検シートを報告

	H25(基準年)	R3
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	19,988	16,754
削減率(基準年度比)(%)	—	16.2

- ・第2次稚内市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の推進

計画期間 令和3年度～令和12年度

計画目標 二酸化炭素排出量を、令和12年度で基準年度(平成25年度)比26%以上削減を目指す。

稚内市における二酸化炭素排出量(環境省公表値)

		H29	H30	R1
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)		445,421	420,608	417,572
前計画	削減率(基準年度比) [基準:H2年度 608,973 t-CO ₂] 目標削減率 : 25%	26.9%	30.9%	31.4%
現計画	削減率(基準年度比) [基準:H25年度 467,444 t-CO ₂] 目標削減率 : 26%以上	4.7%	10.0%	10.7%

※現計画については、計画期間外のため、削減率は参考値となる。

【港湾物流の活性化と整備促進】

〈285 ページ〉

○ 港湾施設整備事業

事業箇所	事業概要
稚内港天北1号ふ頭、天北2号ふ頭	地盤改良工 A=3.9ha

【サハリンをはじめとする海外との経済交流の促進】

〈155・157 ページ〉

○ 日ロ友好会館運営事業

〔利用状況〕

	令和2年度	令和3年度
日本人利用者数	524人	732人
ロシア人利用者数	160人	164人
合計	684人	896人
会議室有料使用	45件	48件

○ 日ロ定期フェリー関係事業

- ・ 稚内・コルサコフ定期航路利用促進協議会負担金
チャーター貨物船の利用促進に向けたPRのほか、輸入に関する課題等を把握するための民芸品等の試験的輸入、サハリンとの間の輸出入を手掛ける事業者への支援等を行った。
- ・ 定期航路利用促進合同会議・友好都市経済交流促進会議の開催
稚内市において開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止(次年度以降へ延期)した。

○ 稚内日ロ経済交流協会事業費補助事業

- ・ 会員企業への同行通訳、サハリン情報紙の発行等を行う稚内日ロ経済交流協会への補助金

○ サハリン貿易振興事業

- ・ サハリン貿易振興事業負担金
貨物船チャーター支援 4回(貨物量:合計約17トン)(昨年度 5回(貨物量:合計約10トン))

○ サハリン経済交流等推進事業

- ・ 道北物産展開催ほか
道北地域の6市(旭川、留萌、紋別、深川、芦別、稚内)の連携により、ユジノサハリンスク市において、道北物産展を開催したほか、道北産の食品を使用した日本食普及に向けたオンラインワークショップ(オンライン料理教室)等を開催した。
「現地小売店と連携した北北海道物産展」
開催期間:令和3年12月22日(水)～12月31日(金)
開催会場:ユジノサハリンスク市(日本食品専門店「ニホンミタイ」)

○ サハリン事務所管理運営事業

派遣職員数(市職員) 1人

(新型コロナウイルス感染症の影響により渡航できなかった期間中は現地スタッフと連絡を取りながら運営)

- ・ サハリンプロジェクト関連情報の収集
- ・ 地元企業に対する経済交流の支援
- ・ 各関係団体に対する交流の支援
- ・ 各種情報の収集・発信

互いに支え、いきいきと生活できる“暮らしづくり”

(1) 地域医療の充実と健康づくりの推進

【市立病院の医療従事者の確保と関係機関との連携】

〈139 ページ〉

- 市立稚内病院の運営及び整備
 - ・ 医師及び医療技術職員の確保対策
 - ・ 医療機器の整備(病院情報システム、内視鏡カメラシステム、白内障・硝子体手術装置、プラズマガス滅菌機、超音波診断装置 等)
 - ・ 本館施設整備(空調設備改修工事、高圧受電設備改修工事 等)
- 市立稚内こまどり病院の運営
 - ・ 療養型病床数 45 床

【診療所誘致の推進と地域で医療を守る取組】

〈135 ページ〉

- 地域医療対策推進事業
 - ・ 地域医療を考える稚内市民会議
市立稚内病院をはじめ、本市の病院及び診療所を市民が協力しながら支えることにより、地域医療の充実を図り、誰もが安心して住み続けられる地域を目指し、地域ぐるみの事業を実施した。
構成団体:25 団体
〔医療市民会議〕 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
〔稚内の医療を考える市民の集い〕 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
〔夢は医者☆未来を拓く講演会〕 新型コロナウイルス感染症の影響により中止
〔旗波運動〕 実施期間 令和 3 年 10 月 1 日～10 月 31 日
〔市役所庁舎への懸垂幕の設置〕 実施期間 令和 4 年 1 月 6 日～3 月 31 日
 - ・ 医療と健康のまちづくり応援団による取組み
地域医療について関心を持ち、市民一人ひとりが健康で暮らし続けられるように、「病院」・「健康」・「未来」・「医師誘致」の 4 つの課題別応援団から構成される「医療と健康のまちづくり応援団」によって、地域医療環境の充実のため様々な運動を展開した。
〔医師らに対する感謝の気持ちを伝える活動〕
令和 3 年度 31 通
〔健康・禁煙教室の開催〕
開催日等 令和 3 年 7 月 12 日(月)(稚内港小学校)

- ・救急医療確保対策補助金

脳卒中における救急告示医療機関として休日または夜間において救急医療を担う医療機関に対して、運営に要する経費の一部を補助し、救急体制の維持、充実を図った。

交付先: 社会医療法人禎心会 稚内禎心会病院 補助金額: 20,000,000 円

【心とからだの健康づくり】

〈127・135・137・217・219 ページ〉

- 健康増進センター管理運営事業

平成 29 年 8 月 24 日(木)	開館 6,976 日目	入館者数 470 万人達成
平成 30 年 4 月 11 日(水)	開館 7,190 日目	入館者数 480 万人達成
平成 30 年 10 月 31 日(水)	開館 7,383 日目	入館者数 490 万人達成
令和元年 6 月 28 日(金)	開館 7,623 日目	入館者数 500 万人達成
令和 2 年 1 月 13 日(月)	開館 7,776 日目	入館者数 510 万人達成
令和 2 年 10 月 14 日(水)	開館 7,982 日目	入館者数 520 万人達成
令和 3 年 6 月 8 日(火)	開館 8,207 日目	入館者数 530 万人達成
令和 4 年 1 月 15 日(土)	開館 8,417 日目	入館者数 540 万人達成

[利用状況]

	令和 2 年度	令和 3 年度	開館からの累計
開 館 日 数	318 日	347 日	8,489 日
入 館 者 数	149,436 人	155,359 人	5,425,634 人
うち観光客	9,907 人	14,559 人	535,230 人
うち外国人	248 人	108 人	36,776 人
月平均利用者数	12,453 人	12,947 人	18,268 人
日平均利用者数	470 人	448 人	639 人

- 特定疾患患者援護事業

- ・ 特定疾患患者について、稚内市以外の専門医療機関への治療通院に要した費用(交通費及び宿泊費)の一部助成を行った。

実績 63 人(292 件) (昨年度 63 人(273 件))

○ 予防接種対策事業、エキノコックス症対策事業

事業内容		区分	令和2年度	令和3年度
予 防 接 種	四種混合	接種者数	767人	670人
	二種混合（ジフテリア・破傷風）	接種者数	221人	208人
	不活化ポリオ（小児マヒ）	接種者数	0人	0人
	BCG	接種者数	191人	170人
	麻しん・風しん混合（MR）ワクチン1・2期	接種者数	443人	361人
	水痘	接種者数	355人	341人
	子宮頸がん予防ワクチン接種	接種者数	24人	51人
	ヒブワクチン接種	接種者数	746人	696人
	小児用肺炎球菌ワクチン接種	接種者数	746人	691人
	日本脳炎	接種者数	1,135人	617人
	B型肝炎	接種者数	550人	509人
	ロタウイルス	接種者数	157人	335人
	高齢者等インフルエンザ予防接種	助成者数	6,232人	5,836人
	肺炎球菌ワクチン接種	助成者数	290人	267人
エキノコックス症血液検査		受診者数	325人	281人

○ 歯の健康推進事業

歯と口の健康フェスティバル:新型コロナウイルス感染症の影響により中止

○ 健康教育事業、健康相談支援事業

事業内容	区分	令和2年度	令和3年度
健康教育事業	実施回数	22回	42回
	受講者数	762人	1,430人
健康相談支援事業	実施回数	13回	24回
	実施人数	68人	178人
訪問指導	実施人数	20人	43人

○ がん検診事業、骨粗鬆症検診事業、肝炎ウイルス検診事業

事業内容	受診者数	
	令和2年度	令和3年度
胃がん検診	625人	899人
子宮がん検診	662人	539人
超音波検査	668人	543人
乳がん検診	745人	703人
肺がん検診	1,412人	1,553人
喀痰検査	28人	24人
大腸がん検診	1,382人	1,498人
前立腺がん検診	588人	631人
骨粗鬆症検診	558人	580人
肝炎ウイルス検診	234人	278人

- ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業
一定年齢に到達した対象者に対し、無料で検診を受けられるクーポンを発行して受診を促した。
子宮がん検診4人、乳がん検診61人

○ ピロリ菌除菌事業

- ・中学2、3年生を対象に、ピロリ菌の検査及び、ピロリ菌陽性者で希望する者に対し、除菌治療を実施した。
ピロリ菌検査 延べ157人、除菌治療3人

○ 国民健康保険事業

事業名	件数等	
	令和2年度	令和3年度
特定健康診査	1,110件（受診率20.8%）	1,154件（受診率21.7%）
特定保健指導	118件	106件
人間ドック検診助成	82件	85件
がん検診等助成	3,325人	3,813人
インフルエンザ予防接種助成	1,562件	1,455件
肺炎球菌予防接種助成	88件	94件

【食育の推進】

〈171 ページ〉

○ 食育推進事業

- ・「食育月間」の取組について

開催日	令和3年8月4日(水)～令和3年8月15日(日) ※新型コロナウイルス感染症の影響により8月に延期となった。
場所	稚内市立図書館
内容	「食」に関する掲示物、食物サンプルの展示による病気の予防や免疫力の維持など健康に過ごすための食事について啓発

(2) 地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進

【障がい者福祉の推進】

〈123・125 ページ〉

○ 重度心身障害者医療費助成事業

		対象者数	助成件数	
			入院	その他
令和2年度	65歳未満	297人	311件	6,164件
	65歳以上	505人	815件	7,177件
令和3年度	65歳未満	288人	287件	6,290件
	65歳以上	492人	792件	7,769件

○ 特別障害者手当等給付事業

区 分	令和2年度	令和3年度
特別障害者手当	302人	295人
障害児福祉手当	108人	108人

○ 福祉灯油支給事業

- ・ 低所得の障がい者、ひとり親世帯等に対して灯油の購入費を一部助成（293世帯）

○ 障害者自立支援給付等事業

区 分		延べ利用者数	備 考
介護給付費	在宅訪問系	458人	障害福祉サービス受給者証交付 368人(年度末) 〔 障害支援区分調査 82人 〕 〔 介護給付費等支給審査 82人 〕
	在宅通所系	2,532人	
	施設入所・入居	890人	
	計 画 相 談	492人	
訓練等給付費	自立・就労支援	2,038人	児童通所サービス受給者証交付 95人(年度末)
	共同生活援助	1,180人	
自立支援医療費	更生医療	(18歳以上)	1,869人
	育成医療	(18歳未満)	9人
補装具給付費		85人	

○ 地域生活支援事業

区 分(主なもの)	延べ利用者数	備 考
日 常 生 活 用 具	334 人	ストマ、紙おむつ 1,326 月給付
コミュニケーション支援	47 人	奉仕員(手話・要約筆記)派遣
地 域 活 動 支 援	3,503 人	障害者地域活動支援センター1 か所
相 談 支 援	558 人	障害者相談支援事業所 3 か所
身体障害者福祉タクシー	775 人	

【高齢者福祉の推進】

〈125・127・251・257・259・261・299 ページ〉

○ 高齢者社会・生きがいづくり

事 業 名		区 分	令和2年度	令和3年度
◆ 敬老祝品及び敬老祝金支給事業	敬老祝品	支 給 人 数	617 人	554 人
	敬老祝金	支給人数	77 歳	459 人
			88 歳	208 人
			100 歳	10 人
◆ 高齢者社会参加活動事業	バス乗車支援事業	対 象 者 数	8,176 人	8,385 人
	JR 乗車支援事業 (抜海・勇知地区)	対 象 者 数	66 人	45 人
◆ 高齢者入浴支援事業		対 象 者 数	10,989 人	10,992 人
		延 べ 利 用 人 数	30,096 人	27,936 人
◆ 老人福祉センター管理運営事業		利 用 登 録 者	333 人	287 人
		延 べ 利 用 者	2,773 人	2,863 人

○ 各種在宅介護支援事業の利用状況

事 業 名	区 分	令和2年度	令和3年度
◆ 外出支援事業 (一般の交通機関の利用が困難な高齢者の移動手段として、特殊仕様の車両により外出活動を支援)	利用登録者数	80 人	84 人
	延 べ 利 用 回 数	818 回	929 回
◆ 緊急通報装置給付運営事業 (日常生活に支障のある一人暮らしの高齢者宅に緊急通報装置を設置して、急病などの緊急時に対応)	設 置 台 数	12 台	13 台
◆ 簡易型緊急通報装置給付運営事業 (一人暮らしの高齢者又は虚弱な高齢者のみの二人世帯を対象に、簡易型の緊急通報装置を設置して、緊急時に対応)	設 置 台 数	94 台	90 台
◆ 訪問理美容サービス事業 (障がいなどのため理美容院に向くことが困難な方の居宅において、理美容師が訪問のうえサービスを実施)	延 べ 利 用 人 数	2 人	0 人

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
◆重度要介護者居宅サービス利用支援事業 (要介護4又は5の方を在宅で介護している低所得者の方に対する支援)	利用登録者数	39人	34人
◆介護保険サービス利用者負担軽減事業費補助事業 (要介護被保険者等のうち、低所得で特に生計が困難である方を対象にサービス利用に係る負担額を一部軽減)	利用登録者数	54人	60人
◆家族介護用品支給事業 (要介護4又は5の低所得者に対してオムツなどを購入できるクーポン券を交付)	申請登録者	61人	29人
	延べ支給件数	580件	400件
◆配食サービス事業 (一人暮らしなどの理由で、調理が困難な高齢者世帯に配食と安否の確認を行う)	延べ利用人数	271人	309人
	延べ利用食数	3,690食	3,404食
◆命のバトン事業 (65歳以上の一人暮らし又は65歳以上のみの2人世帯に、救急時に必要な情報を保管する専用のキットを配布する)	配布数	21人	70人

○ 各活動への支援

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
稚内市老人クラブ連合会運営費補助事業	クラブ数	42ヶ所	42ヶ所
稚内市老人クラブ交付金	会員数	1,286人	1,286人
長寿ふれあい交流事業費補助事業	助成町内会	63町	64町
	助成対象者数	7,487人	8,694人

○ 後期高齢者医療事業

- ・各種申請の受付・相談及び保険料の徴収を行った。

被保険者数 75歳未満 157人

75歳以上 5,393人

○ 老人福祉施設整備事業費補助事業

- ・社会福祉事業の健全な運営に資するため、老人福祉施設の大規模改修工事を行う社会福祉法人(1者)に対し補助金を交付した。

○ 介護認定審査会事務

- ・宗谷北部介護認定審査会の開催(52回開催)
- ・稚内市分認定件数 1,398件(実人数 1,829人 ※令和4年3月末 要介護認定者数)

○ 介護認定調査事務

- ・介護認定調査数 1,452件(市直営調査 1,278件、委託調査 174件、直営率 88.0%)

○ 短期集中予防サービス事業(通所型、訪問型)

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
運動器の機能向上事業	実施回数	42回	32回
	参加者数	204人	92人
栄養改善事業	実施回数	0回	0回
	参加者数	0人	0人
口腔機能向上事業	実施回数	0回	13回
	参加者数	0人	13人

○ 地域介護予防活動支援事業

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
◆介護予防サポーター等養成(育成)	実施回数	0回	0回
	養成等数	0人	0人
◆地域での介護予防教室・通いの場 (介護予防サポーター活動人数含む)	開催箇所数	6箇所	2箇所
	実施延回数	8回	4回
	参加延人数	107人	55人

※「地域での介護予防教室・通いの場」についての実施回数及び延べ参加人数は包括支援センターが直接支援を行った分を計上

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部を中止

○ 介護予防普及啓発事業

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
普及・啓発など ◆認知症予防教室(脳の健康教室) ◆いきいき栄養教室 ◆健康運動教室 ◆介護予防教室	実施回数	26回	43回
	延べ受講人数	1,142人	1,846人
相談事業 ◆高齢者健康相談事業	実施回数	49回	45回
	延べ参加人数	303人	299人
その他 ◆介護予防手帳の交付	交付者数	10人	21人

○ 地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
地域リハビリテーション活動支援事業	実施回数	9回	2回
	延べ参加人数	15人	2人

○ 地域包括支援センターの運営

- ・ 保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士等の専門職を配置して、高齢者が地域で安心して生活していくための地域包括ケア体制づくりに向けて、保健福祉の総合的な相談、虐待防止、要介護状態への移行を防止するための介護予防に関する事業などを実施した。また、社会保障充実分として包括的支援事業に位置づけられている、認知症総合支援事業、在宅医療・介護連携推進事業等を実施した。

[活動状況]

事業名	区分	令和2年度	令和3年度
◆総合相談支援事業 (在宅介護支援センター委託分含む)	延べ対応人数	6,911人	5,390人
◆地域ケア支援事業 (地域ケア会議研修会、個別ケース会議等の開催)	開催回数	12回	21回
◆権利擁護事業(高齢者虐待、成年後見制度など)	延べ対応人数	1,081人	554人
◆成年後見制度利用支援事業	市長申立件数	1件	3件

○ 認知症総合支援事業

- ・ 認知症初期集中支援推進事業として、認知症初期集中支援チームによる早期診断・早期対応に向けた支援を行った。また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の活動の一環として、オレンジカフェ(認知症カフェ)開催の支援や「わからない認知症の方を支える家族の会『ほっとする会』」の運営に関する後方支援を行った。

		令和2年度	令和3年度
初期集中支援	支援数	9人	7人
	支援終了	7人	4人
	継続支援	2人	3人
	チーム員会議開催回数	4回	4回
カフェ	開催数	6回	7回
	参加者数	66人	82人
家族会	開催数	3回	4回
	参加者数	27人	39人
ケア向上	開催数	2回	0回
	参加者数	155人	0人

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部を中止

○ 生活支援体制整備事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により活動が縮小される中、生活支援コーディネーターが町内会や老人クラブ活動に参加することによって繋がりを強化するとともに地域資源や支援ニーズの把握に努め、支え合い活動の場として「おさいほうクラブ」「パソコン教室」を開設した。

○ 在宅医療・介護連携推進事業

- ・市内の医療・介護の関係機関・関係団体などと協力して、在宅医療・介護の連携を推進するため、以下の活動を実施した。

[令和3年度事業実績]

1. 課題抽出・対応策検討のための会議開催

- ・在宅医療・介護連携推進検討会(てっぺんの会)開催4回

2. 地域の医療・介護の資源把握 及び 関係者間の情報共有の支援

- ・てっぺんの会入退院等支援ワーキングチームが、専門職向けの情報共有のための通信紙を発行

3. 医療・介護関係者の連携推進

- ・多職種研修会開催 0回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

4. 住民への普及啓発

- ・介護の日に合わせて図書館で在宅医療や介護に関するパネル展示や、啓発DVDの上映並びに在宅療養パンフレット「これまでこれからも」及び相談先のチラシを配布

5. 在宅医療・介護連携相談窓口設置

- ・医療や介護の従事者からの在宅医療と介護連携に関する相談や、市民からの在宅療養に関する相談に対する窓口設置

		令和2年度	令和3年度
相談件数		24件	26件
相談元	医療	17件	16件
	介護	2件	2件
	家族等	5件	8件

6. 管内市町村連携の推進

- ・管内市町村の広域連携意見交換会 0回(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

○ 認知症サポーター等養成事業

事業名	令和2年度	令和3年度
認知症サポーター養成講座	237人 (累計4,309人)	206人 (累計4,515人)
認知症サポーター ステップアップ養成講座	0人 (累計84人)	26人 (累計110人)

※新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部を中止

○ 認知症高齢者等見守り・SOS ネットワーク事業

- ・平成 30 年度より事前登録制の運用を導入し、行方不明になった認知症高齢者等を早期発見・保護及び行方不明を予防するための地域の見守り体制の構築を行っている。また、行方不明を想定し、一斉送信の模擬訓練を行った。

	令和2年度	令和3年度
ネットワーク推進会議開催	1回	1回
年度末登録件数	26件	40件
事前登録件数	34件	51件
新規登録件数	15件	25件
継続登録件数	19件	26件
年度内廃止件数	8件	11件
ネットワーク稼働回数	0回	2回
模擬訓練実施回数	1回	1回

○ 介護予防ケアマネジメント

事業名	令和2年度	令和3年度
介護予防支援事業 (要支援者の介護予防プラン報酬請求件数)	1,743件	1,573件
介護予防ケアマネジメント (要支援者及び事業対象者の介護予防プラン報酬請求件数)	2,393件	2,426件

【生活困窮者への支援強化】

〈125・133 ページ〉

○ 生活保護扶助事務

区分	令和2年度	令和3年度
被保護世帯数	594世帯	589世帯
被保護人員数	743人	724人
保護率	22.8%	22.7%
面接相談件数	141件	147件

○ 生活困窮者自立支援事業

- ・令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困った方の相談・申請件数が大幅に増加した。
- ・必須事業の自立相談支援事業、住居確保給付金のほか、任意事業として家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施した。

事業名		令和元年度	令和2年度	令和3年度
自立相談支援事業	相談件数	43件	286件	185件
	支援件数	24件	92件	110件
家計改善支援事業	相談件数	3件	1件	1件
	支援件数	3件	1件	1件
就労準備支援事業		—	15件	9件
住居確保給付金		0件	4件	2件

【誰もが参加・参画できる社会の推進】

〈123・127 ページ〉

○ 稚内市社会福祉協議会運営費補助事業

- ・ 福祉団体の事務局業務のほか、社会福祉事業として共同募金助成事業、生活福祉資金等貸付事業、愛情銀行事業等、公益事業として生活困窮者自立支援事業等を実施した。

○ 民生児童委員活動支援事業

- ・ 各民生委員、児童委員が行った相談・支援の年間延べ件数

[活動状況]

区 分	令和2年度		令和3年度	
	相談・支援件数	活動日数(延べ)	相談・支援件数	活動日数(延べ)
民生委員(児童委員)111人	5,458件	10,287日	6,211件	10,362日
主任児童委員 12人	471件	676日	171件	746日
合 計	5,929件	10,963日	6,382件	11,108日

○ 稚内市遺族会運営費補助事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道戦没者遺族大会、北海道護国神社例大祭遺族参拝、宗谷管内遺族会研修会等中止となったため、実施された稚内市戦没者追悼式及び北海道戦没者追悼式のみ参加となった。

○ 稚内市社会を明るくする運動推進委員会運営費補助事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している北門神社・南神社祭典会場での街頭啓発や社会を明るくする運動研修会の実施を見合わせ、啓発チラシの折込み及び市内高校の卒業生等へのメッセージと記念品の贈呈を実施した。

○ 声問ノーマライゼーション推進委員会運営費補助事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているふれあい夏祭りをはじめとする多くの地域住民が集う交流事業や研修事業が中止となり、道道花壇整備及び声問小学校と稚内養護学校の交流のみ実施した。

- ひきこもりサポート事業
 - ・ ひきこもり相談窓口の設置
- 総合福祉センター管理運営事業
 - ・ 利用者数 14,166 人（昨年度 12,004 人）

(3) 人と地球にやさしいまちづくり

【低炭素社会の実現】

〈109 ページ〉

- 太陽光発電施設維持管理事業
 - ・ 次世代エネルギーパーク拠点施設として、稚内メガソーラー発電所で発電した電力を、隣接する大沼球場と道立宗谷ふれあい公園へ供給し、再生可能エネルギーの利活用を図った。
- 新・省エネルギー推進事業
 - ・ 風力発電のための送電網整備事業
 「風力発電のための送電網整備実証事業」は、2022 年度の実証開始に向け、現在取り組みが進められており、送電網整備をはじめ蓄電池システムや変電所に係る工事は順調に進捗している。

実施事業者	送電網整備エリア	蓄電池システム	総事業費
北海道北部風力送電㈱	稚内～中川町(総距離 77.8km)	240MW／720MWh	約 1,000 億円

- ・ 風力発電事業

稚内市における風力発電事業の環境アセス状況は下記表のとおり(R4.3.31 現在)

事業名	手続き状況	縦覧期間	説明会
(仮称)川南風力発電事業	評価書終了	R1.9.25(水)～R1.10.24(木)	
(仮称)川西風力発電事業	評価書終了	R1.9.25(水)～R1.10.24(木)	
(仮称)樺岡風力発電事業	評価書終了	R2.2.18(火)～R2.3.17(火)	
(仮称)勇知風力発電事業	評価書終了	R2.2.18(火)～R2.3.17(火)	
(仮称)上勇知ウィンドファーム事業	評価書終了	R2.3.31(火)～R2.4.30(木)	
(仮称)増幌風力発電事業	準備書終了	H28.4.1(金)～H28.5.2(月)	H28.4.19(火)、H28.4.20(水)
(仮称)宗谷丘陵風力発電事業	方法書終了	H29.1.6(金)～H29.2.6(月)	H29.1.18(水)
(仮称)新さらきとまない風力発電事業	評価書終了	R3.6.30(水)～R3.7.29(木)	
(仮称)北海道(道北地区)ウィンドファーム稚内	方法書終了	H29.4.27(木)～H29.5.31(水)	H29.5.21(日)
(仮称)宗谷岬風力発電事業更新計画	準備書終了	R2.9.29(火)～R2.10.28(水)	
(仮称)宗谷管内風力発電事業	配慮書終了	R4.2.17(木)～R4.3.22(火)	
(仮称)抜海・豊田風力発電事業	配慮書終了	R4.2.17(木)～R4.3.22(火)	

・ゼロカーボンシティの実現に向けた市民説明会

日 時	令和4年3月26日(土) 14:00～15:30
目 的	2021年(令和3年)2月に2050年(令和32年)までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を宣言しており、地球温暖化対策は、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー行動の徹底など、市民一人ひとりの取組が必要であるため、ゼロカーボンシティの実現に向け、気運の醸成と本市の脱炭素の取組みを周知するために開催
場 所	稚内市立図書館
内 容	(1)「気候変動と地域脱炭素」 講師:環境省北海道地方環境事務所 環境対策課 青地 絢美 様 (2)「地域新電力会社の設立に向けて」 講師:稚内商工会議所常議員(かぜ部会) 部長 石塚 英資 様 (3)「再生可能エネルギーの地産地消に向けた取組について」 説明:稚内市企画総務部 エネルギー対策課長 市川 正和
共 催	稚内新エネルギー研究会
参加人数	31名

○ 再生可能エネルギー地産地消モデル構築事業

目 的	稚内市が所有する風力発電設備で発電した電気を、電力会社の送電網を活用し、遠隔地にある複数の公共施設で最適に利用する仕組みの構築・運用を目指す。 また、産業振興や雇用の創出を目指すために、地域にあるエネルギーを活用した「地域エネルギー会社」の創設を検討する。
実施期間	平成29年度～令和3年度
令和3年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・EMS 託送システムの整備及び設置が完了し、電力の自己託送における20施設への電力の最適融通を令和4年3月より実施。 ・蓄電池機器(1,800kWh)の製作・設置が完了し、既に令和2年度で製作完了した蓄電池(200kWh)と合わせて2,000kWh分の蓄電池の整備が完了した。 ・蓄電池システムの整備により、電力の自己託送におけるインバランスの回避が可能となった。 ・デジタルサイネージの整備 ・地域新エネルギー会社の設立に向け各関係機関との準備を進めた。また、地域エネルギー会社の設立に向け勉強会を開催し、事業スキームや収支の見直しを行うなど、持続可能な会社設立に向け検討を行った。 ・検討委員会の開催 日 時 : 令和4年2月18日(金)13:30～15:30 場 所 : 稚内市役所3階 市長会議室 及び オンライン(Teams) 出席者 : 29名(WEB参加:26名、現地参加:3名) 議 題 : (1)事業の全体像について (2)本年度の検討結果及び事業化に向けた今後の流れについて

【豊かな自然環境の保全】

〈139 ページ〉

- 公害防止対策事業
 - ・ 自動車の道路交通騒音測定を1箇所を実施し、公害監視を行った。
地域住民の生活環境を著しく損なう騒音は確認されなかった。
- 不法投棄防止対策事業
 - ・ 不法投棄防止対策として、監視員 2 人を雇用し、稚内市管内一円パトロールを実施
廃タイヤ・廃家電製品・消火器等 1.2tを回収（昨年度 0.6t回収）
 - ・ 不法投棄防止啓発看板の設置
 - ・ 清掃活動「クリーンアップわっかない」の推進
町内会クリーン作戦（各町内会一斉）春:19 町内会 450 人

【循環型社会の実現】

〈139・141 ページ〉

- 一般廃棄物収集事業
 - ・ 一般廃棄物の収集量 8,525t（昨年度 8,751t）
（家庭系収集ごみ:5,456t、大型収集ごみ:30t、資源物収集:3,039t）

[廃棄物処分場埋立て状況]

	令和2年度	令和3年度
一般廃棄物	12,103 t	11,616 t
うち家庭系	5,515 t	5,316 t
うち事業系	4,809 t	4,170 t
その他一般廃棄物	1,779 t	2,130 t
産業廃棄物(合せ処理分)	1,762 t	1,440 t
埋立て処理合計	13,865 t	13,056 t

○ 生ごみ中間処理施設管理運営事業

- ・ 稚内市バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)において、生ごみ等の中間処理により、ごみの減容化を図り、さらに処理過程で発生するバイオガス(メタンガス)のエネルギーとしての活用や、最終残渣を肥料とするなど、有効活用を図った。

[稚内市バイオエネルギーセンター処理状況]

	令和2年度	令和3年度
投入量	3,951t	3,867t
生ごみ	1,556 t	1,573 t
下水道汚泥	2,084 t	1,988 t
その他(水産残渣、紙、廃食用油)	311 t	306 t
処理不適物	395 t	371 t
実質処理量	3,556 t	3,496 t
残渣排出量(減容率)	603 t(83.0%)	601 t(82.8%)
発生ガス量(※)	452,106N m ³	436,605N m ³
ガス回収率(※)	127N m ³ /t	125N m ³ /t

ガス量 50%換算値

○ ごみ減量化対策事業

- ・ ごみ総排出量 15,454t (昨年度 15,848t)
- ・ 一人一日当たりごみ排出量 1,306g/人・日 (昨年度 1,310g/人・日)
- ・ 小中学校、町内会等の資源物の集団回収の促進を目的として資源物集団回収奨励金制度を実施した。
実施団体数 9 団体(昨年度 11 団体)
回収量 140.7t(昨年度 132.7t)

○ リサイクルセンター整備事業

現在のリサイクルセンターは供用開始から 20 年が経過し老朽化が進んでいることから、新しいリサイクルセンター施設の整備に向け、平成 30 年度から令和元年度にかけて基本設計を行い、令和 3 年度においては、令和 2 年度に引き続き実施設計を行ったほか、用地の造成工事を実施した。

- ・ リサイクルセンター建設工事施工監理業務委託
- ・ リサイクルセンター建設工事(プラント設備工事・土地造成工事)

○ 分別収集事業

- ・ 資源化量 3,292t (昨年度 3,270t)
資源物処理量:3,039t(古紙類:2,049t、ビン類:254t、缶類:163t、ペットボトル:173t、古衣類:34t、容器包装プラ:338t、その他:28t)
生ごみメタン資源化量 :253t(メタン化量:149t、堆肥化量:104t)
- ・ リサイクル率 21.3% (昨年度 20.6%)

【住みよい生活環境の確保】

〈137・139・141・161 ページ〉

- 公衆浴場確保対策等事業費補助事業
 - ・ 稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金
住民の保健衛生上不可欠で、将来にわたって必要とされる公衆浴場の廃業を防止し、利用の機会を確保するため、市内1浴場に対し、事業費の補助を行うのが目的であるが、令和3年度は基準入浴客数を超えていることから、稚内市公衆浴場確保対策事業費補助金交付要綱に定める補助対象施設に該当しなかった。

- 火葬場管理運営事業
 - ・ 火葬場使用実績:695件（昨年度:645件）
 - ・ 火葬炉改修工事

- し尿処理事業、浄化槽汚泥処理事業
 - ・ し尿及び浄化槽汚泥を下水終末処理場で下水汚泥と共同処理を行った。
し尿処理量 1,502件 704.3kl/年 浄化槽汚泥処理量 1,240件 3,114.2kl/年

- 除雪対策管理事業
 - ・ 除排雪業務委託
除雪回数 14回
除雪延長(市内 192.5km、郡部 140.3km)
 - ・ 融雪剤・砂散布業務委託
 - ・ スノーポール設置、撤去業務委託(設置数 1,768本、防雪柵 1,781m)
 - ・ 歩道柵設置、撤去業務委託(転落防止柵 774m等)
 - ・ ロードヒーティング維持管理業務委託 11箇所
 - ・ 上猿払清浜線除雪業務委託(北海道受託)
 - ・ 融雪剤散布機設置、撤去業務委託 2箇所

(4) 安全・安心な暮らしづくり

【消費者教育及び消費者被害防止活動の推進】

〈105 ページ〉

- 消費生活安定事業
 - ・ 消費者被害未然防止のための啓発活動(消費生活パネル展等)
 - ・ 連絡会ニュースの発行(年4回)

- 消費者センター運営事業
 - ・ 消費生活相談業務の広域対応 管内相談件数 164件、うち稚内市 126件
(昨年度 管内相談件数 164件、うち稚内市 127件)

○ 物価・量目調査事業

- ・ 物価調査 ～ 調査員: 稚内市消費生活モニター 6 人
生活関連物資(47 品目)の価格調査を毎月 1 回実施
- ・ 量目調査 ～ 調査員: 稚内市消費生活モニター 6 人
食料品(調査品目: 夏 6 品目、冬 6 品目)を購入し、量目調査を年 2 回実施

【交通安全対策及び防犯対策の推進】

〈103・105・159 ページ〉

○ 交通安全対策事業

- ・ 一般交通安全指導員 11 人

事業内容	出勤延べ回数	
	令和 2 年度	令和 3 年度
春秋の全国交通安全運動街頭指導	106 回	108 回
その他の運動(街頭啓発、パトライト作戦等)	67 回	64 回
各種行事交通整理	3 回	6 回

- ・ 学校交通安全指導員 11 人

配置校: 稚内中央小学校、稚内南小学校、稚内東小学校、稚内港小学校、潮見が丘小学校 (市内 5 小学校)

- ・ 交通安全啓発資材(夜光反射材等)の購入

事業内容	区分	令和 2 年度	令和 3 年度
交通安全教室・講習会 (幼児～高齢者)	開催回数	5 回	9 回
	参加人数	466 人	1,300 人
交通安全大会	開催回数	2 回	0 回
	参加人数	73 人	0 人

- ・ 運転免許自主返納奨励品

65 歳以上の稚内市民で運転免許証を自主返納した方に対し、わからない地域商品券 2,000 円分を交付。

交付申請件数 112 件、交付決定件数 112 件

○ 防犯活動推進事業

- ・ 青色防犯パトロール実施回数(市公用車) 延べ 2,282 回 (昨年度 2,393 回)

○ 道路橋梁維持管理事業(道路交通安全施設の整備)

- ・ 区画線整備 16.4km
- ・ カーブミラー設置 1 箇所

【消防・救急体制の充実】

〈169 ページ〉

- 消防施設等の整備
 - ・ 消防庁舎高圧受電設備更新工事 ※5期工事の3期目
 - ・ 消火栓 新設2基(下増幌2基)、取替2基(末広5・大黒4)、移設1基(萩見4)

【鳥獣被害防止対策の強化】

〈147 ページ〉

- 鳥獣被害防止対策事業
 - ・ エゾシカ捕獲・管理(被害防止及び数の調整) 871頭 (昨年度 809頭)
 - ・ 市に対し捕獲の許可申請があった件数 83件(道許可及び市許可) (昨年度 86件)
 - ・ アライグマ捕獲 260頭(市職員及び委託業者) (昨年度 348頭)
 - ・ カラスの巣撤去出動回数 85回(市職員及び委託業者) (昨年度 84回)

まちを愛し、世界に誇れる“ふるさとづくり”

(1) 郷土愛の醸成・まちの魅力の発信

【「ふるさと稚内」のPR活動の推進】

〈101 ページ〉

○ ふるさと納税推進事業

- ・ ふるさと納税制度による本市への寄附促進と、地元特産品のPRや地元産業の活性化を図るため、平成 27 年 11 月より、ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」において、お礼品の贈呈を開始した。
- ・ 更なる寄附促進と地元特産品の PR や地元産業の活性化を図るため、令和元年 11 月にふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」、同年 12 月に「ANAのふるさと納税」、令和 3 年 4 月に「ふるなび」・「ふるさとパレット」・「楽天ふるさと納税」・「JREモール」を拡充。
- ・ 稚内に関わりを持つ人々との関係強化のために、ふるさと納税継続寄附者に対しはがきを送付した。
- ・ ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」内での広告掲載、関東圏への紙面広告の掲載、yahooやgoogleへのweb広告によるPRを実施した。

〔寄附実績〕

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
寄附件数	139,896 件	170,206 件	135,116 件
寄附額	2,114,038,647 円	2,613,959,021 円	2,304,223,000 円

〔使途別〕

	項 目	件 数	寄 附 額
①	教育及び少子化対策に関する事業	20,245 件	352,810,496 円
②	国内及び国際の交流に関する事業	824 件	13,304,002 円
③	福祉及び医療に関する事業	8,558 件	138,547,504 円
④	環境、新エネルギー及び省エネルギーに関する事業	4,748 件	79,595,505 円
⑤	地場産業の振興に関する事業	9,403 件	158,078,441 円
⑥	文化及びスポーツの振興に関する事業	1,491 件	25,635,104 円
⑦	その他市長が必要と認める事業	92,419 件	1,536,251,948 円
	合 計	137,688 件	2,304,223,000 円

※使途別件数については、複数項目に寄附が可能のため、寄附件数とは異なる。

○ 企業版ふるさと納税

〔寄附実績〕

事業名	件数	寄附額
エネルギー地産地消モデル構築事業	4件	101,100,000円
稚内港地盤改良事業	3件	79,600,000円
産業教育活動施設の整備に係る事業	1件	10,000,000円
合計	8件	190,700,000円

(2) 国内外との交流促進とホスピタリティの向上

【まちを訪れる人の満足度向上】

〈155 ページ〉

○ 稚内観光マイスター推進事業費補助事業

	受験者数	合格者数	累計
初級	227人	195人	1,672人
中級	37人	6人	167人
上級	14人	0人	25人

【国際交流の推進】

〈155 ページ〉

○ 稚内国際文化交流協議会事業費補助事業

- ・ 稚内・サハリン間青少年オンライン交流（稚内・コルサコフ友好都市提携30周年記念事業）

稚内市内の高校生と友好都市コルサコフ市の生徒が、新型コロナウイルス感染症の影響により、お互いの往来が難しい中、お互いの街の紹介VTRを作成し、オンラインで発表し合うなどの交流を行った。

開催日：令和3年11月27日（土）

参加者：稚内市側4名 コルサコフ市側3名

- ・ eスポーツ交流（稚内・ユジノサハリンスク友好都市提携20周年記念事業）

新型コロナウイルス感染症の影響により国家間の往来が難しい中、稚内北星学園大学（稚内市）とサハリン国立総合大学（ユジノサハリンスク市）をオンラインで結び、学生同士のeスポーツによる交流（オンライン対戦）を行った。

開催日：令和3年10月8日（金）

参加者：稚内市側4名 ユジノサハリンスク市側3名

- ・ 友好都市サハリン写真展

友好都市3市（ネベリスク市、コルサコフ市、ユジノサハリンスク市）と稚内市のこれまでの交流の歩みと、3市の最新の街の様子を紹介する写真等を展示し、サハリンの「今」に触れていただく機会を創出した。

開催期間：令和3年7月17日（土）～8月15日（日）

(3) 移住・定住の促進と関係人口の拡大

【移住・定住の促進】

〈101 ページ〉

○ ちょっと暮らし移住体験推進事業

・ 移住体験住宅の整備

郊外の3棟(下勇知、西浜、更喜苦内)及びウィークリーマンションの3室の体制で、移住体験者の受入れを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度の受入を全て中止した。

【若者の定着・Uターンの促進】

〈101 ページ〉

○ U I Jターン新規就業支援事業

- ・ 稚内市への移住・定住の促進及び中小企業等の人手不足の解消を目的に、東京圏から稚内市に移住することを前提とし、北海道が運用するマッチングサイトを通じて登録事業者就職、あるいは稚内市で起業に至った場合に助成金を支給する。

登録事業者数:9社(令和4年3月末現在)、令和3年度助成件数:0件

新型コロナウイルス感染症対策事業

〈113・115・169 ページ〉

事業名	事業内容
新型コロナウイルス感染症対策事業	<p>○株式会社木下グループと協定を結び、官民協働によるPCR等検査施設として「稚内市新型コロナ検査所」を稚内市ポートサービスセンター内に設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年2月12日から令和4年3月31日までの検査件数:1,157件 <p>○自宅療養者のうち、希望者に対し、北海道からの自宅療養セットが配送されるまでの概ね三日分の食料品及び日用品のセットを配達した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年1月26日から令和4年3月31日までの利用人数:105人
観光客誘致・受入強化緊急対策事業	<p>売上が減少している市内の観光関係事業者及び旅客運送事業者の事業継続を支援するため、観光客誘致・受入強化対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないクーポン事業【個人】(市内宿泊施設の宿泊者に対し、市内登録業者で利用できる「クーポン券」を進呈) ・てっぺん割事業【個人】(市内宿泊施設の宿泊代金を割引) ・わからないクーポン事業【団体】(ツアー客に対し、市内登録業者で利用できる「クーポン券」を進呈) ・てっぺん割事業【団体】(市内宿泊施設の宿泊代金を割引) ・東京直行便利用促進事業(マイル山分けキャンペーンを実施) ・誘客促進事業(ウェブ、旅行誌、新聞、テレビCM等による稚内観光に関する広告を出稿) ・団体ツアー広告費助成事業(旅行エージェンツの集客に係る広告費等を助成)
市民お出かけキャンペーン事業	<p>閉塞感の解消を図るため、稚内市民を対象に近隣(道北地域)へのJRを利用したの旅行を実施した。(計3回、延べ56人参加)</p> <p>①親子限定 旭川(旭川駅特別見学、旭山動物園、旭川市科学館 等) 実施日:10月23日(土)・24日(日)、参加者14人(大人7人・小人7人)</p> <p>②旭川紅葉のみどころと層雲峡(旭川駅特別見学、当麻鍾乳洞、層雲峡温泉 等) 実施日:10月25日(月)・26日(火)、参加者22人(大人22人)</p> <p>③丘の街びえい(旭川駅特別見学、トリックアート美術館、青い池 等) 実施日:10月29日(金)・30日(土)、参加者20人(大人20人)</p>
学校保健特別対策事業	<p>コロナ禍においても十分な教育活動が継続できるよう、各学校のニーズに合わせ感染対策に必要な消耗品を購入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク、手指消毒液、ビニール手袋、飛沫防止パーテーション等
外国人技能実習生等出入国緊急支援事業	<p>外国人技能実習生等の出入国に要する負担が増大している市内の事業者に対して、支援金を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人技能実習生等一人あたり3万円 ・給付件数40件(83人分)／給付額2,490,000円

事業名	事業内容
新型コロナウイルスワクチン接種事業	<p>市内病院及び診療所の個別接種のほか、宗谷医師会の協力のもと、市において稚内市保健福祉センター及び稚内総合文化センターを会場に集団接種を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月末現在、初回接種を終えた方は、接種対象者対比で約91%、全市民対比で約84%となった。 追加接種については、優先して実施した高齢者の接種率が約87%となった。 <p>※令和4年度においても継続して実施</p>
子育て世帯生活支援特別給付金事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯を支援するため、対象児童一人あたり5万円の給付を行った。</p> <p>[ひとり親世帯]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月分の児童扶養手当の支給を受けている者等 支給世帯292世帯、対象児童421人、給付額21,050,000円 <p>[ひとり親世帯以外]</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当の支給を受けている者で、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者等 支給世帯105世帯、対象児童177人、給付額8,850,000円
PCR検査等費用助成事業	<p>稚内市民である親族(親・祖父母等)宅へ帰省する市外在住の方が、帰省前にPCR検査等を実施した際に、その費用の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> PCR検査: 上限額15,000円/1回、抗原定量検査: 上限5,600円/1回 (上限額と検査費用の7割を比較し、いずれか低い額を助成額とした。) 申請件数27件/助成件数23件/助成額208,750円
わっかない消費拡大・事業者応援事業	<p>飲食店及び関連する事業者を応援するため、プレミアム付き地域商品券を発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1セット5,000円で販売、プレミアム率40%(7,000円分の地域商品券) プレミアム分40%(2,000円分)は飲食店限定 46,200セット中、39,972セット販売(86.5%) / 換金総額277,861,000円
南中ソーランオンライン開催事業	<p>市内小中学校をメインに稚内の観光資源などを活用した場所でソーラン動画を撮影し、動画を配信した。また、全国からも有志を募り、多世代が参加交流できるオンライン型イベントを開催した。</p> <p>[オンライン南中ソーラン祭実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日時: 令和3年11月28日(日)10:00~12:30 参加団体: 幼稚園・保育園・小中学校・一般参加団体 計21団体、931人 観客数: 会場130人(主催含む)、オンライン視聴4,226回(令和4年3月31日現在)
新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	<p>特例貸付を利用できない世帯のうち、収入要件、資産要件及び求職活動要件等を満たしている世帯に、3ヵ月を限度として自立支援金を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 支給額: 単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上世帯10万円 令和3年8月31日締切分: 相談14件、申請3件、支給額720,000円 令和3年11月30日締切分: 相談11件、申請3件、支給額660,000円 令和4年3月31日締切分: 相談32件、申請7件(うち再支給3件)、支給額1,160,000円

事業名	事業内容
花火大会開催事業	<p>少しでも市民に楽しんでもらいたいという想いと、最前線で奮闘されてきた医療従事者や事業者への感謝、今後の地域経済の回復を願い花火大会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時: 令和3年10月23日(土) 20時30分～ ・共催: 稚内商工会議所 ・打上場所: 稚内港北ふ頭 ・観覧場所: 末広ふ頭、天北1号ふ頭、天北2号ふ頭(実績: 車両349台、954人) ・YouTube ライブ配信も実施
スポーツ大会応援交流事業	<p>稚内市出身の選手が東京パラリンピック2020自転車競技に出場することが決定したことから、市民一丸となって応援するため、感染対策を徹底したうえで、市民限定パブリックビューイングを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 令和3年8月26日(木) 11時00分開場、12時20分競技開始 ・場所: 稚内総合文化センター ・参加者数: 102人
学校修学旅行費支援事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による小中学校の修学旅行の延期に伴い、発生するキャンセル料及び追加費用について、保護者に負担が生じないよう支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行に参加した児童生徒がいる全ての保護者から申請があり、支援を行った。 ・小学校: 240人分、717,268円、中学校: 262人分、4,497,294円 計 502人分、5,214,562円
わからない事業者応援緊急支援事業	<p>緊急事態措置(8月～9月)において売上減少などの影響を受け、国の月次支援金、北海道の特別支援金、休業協力等支援金の支給を受けた事業者に対し、一律20万円の支援金を給付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給付件数 313件 / 給付額 62,600,000円
町内会活動再開支援事業	<p>「新北海道スタイル」に則り様々な活動が実現できるよう、地域住民の活動場所である町内会館等を対象に、稚内市町内会連絡協議会が行う感染予防対策に必要な備品整備にかかる経費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気清浄機、飛沫防止パーテーション、アルコール消毒オートディスペンサー、非接触型体温計、二酸化炭素濃度測定器
子育て世帯等臨時特別支援事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援するため、対象児童一人あたり10万円の給付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月分の児童手当(本則給付)支給対象児童、令和4年3月31日までに生まれた児童手当(本則給付)の支給対象児童等 ・支給世帯 2,619世帯、対象児童 4,061人、給付額 406,100,000円
住民税非課税世帯等臨時特別支援事業	<p>令和3年度住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して、一世帯あたり10万円の給付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯 4,166世帯、家計急変世帯 14世帯、計 4,180世帯 ・給付額 418,000,000円 ※令和4年度においても継続して実施

事業名	事業内容
生活支援臨時特別給付金支給事業	<p>令和3年度住民税が均等割のみ課税の者などで構成される世帯に対し、一世帯あたり5万円の給付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給世帯 343 世帯／給付額 17,150,000 円
稚内市学生等臨時特別支援事業	<p>19歳以上の市内の大学等に在学する学生等に対する学業の継続及び生活の支援を行うため、地域商品券(5万円)を配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布人数 139 人
消防事務組合負担金事業	<p>救急隊員及び消防隊員の感染防止対策に必要な各種物品を整備した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高濃度用酸素マスク、中濃度用酸素マスク、レスピレーターマスク ルフカ、オゾン発生器 オゾンセンサーモジュール、新型コロナウイルス感染対策アイソレータ用物品一式、防寒衣、ベットサイドモニター一式、ビデオ喉頭鏡一式、消防用洗濯機・乾燥機、パルスオキシメータ、LUCAS3 心臓マッサージシステム